

Bulletin

交通 ● ブリテン

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

ISSN 1349-9610

2016年
年報号

40

巻頭言：下辺 悟

学窓雑記と研究余滴

Contents

- 2 巻頭言：下辺 悟
- 4 平成28年度 研究室紹介
- 8 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 9 平成27年度 修士論文・卒業研究
- 12 平成27年度 教員の研究・活動
(2015.4.1~2016.3.31)
- 12 研究業績
- 22 社会的活動
- 25 学外学術活動
- 27 海外出張
- 29 外部研究資金の受入状況
- 30 受賞
- 30 平成27年度 学生を受賞等
(2015.4.1~2016.3.31)
- 31 教室の動き
- 33 平成27年度 就職状況
- 34 TOPICS 新任教員の紹介
- 34 編集後記



前職の工学短期大学部建設学科から当学科に所属替えになり、はや丸15年が経過し、交通ブリテンにて巻頭言を書くのは今回で2回目である。今年定年の前年を迎え、走馬灯の歩んできた自分の頭の中では、「終活」あるいは「下山のすすめ」といった心境であろうか。交通工学科（現 交通システム工学科）10期生の小生は、1968年-1970年の全共闘運動大学紛争（東大闘争や日大闘争ほか）の時期であったが、その後下火となった1970（昭和45）年4月に入学した。

1年次の同年3～9月は「大阪万国博覧会Expo'70開催」、11月には「三島由紀夫 割腹自殺」の記憶が、四十数年経た現在でも鮮明に残っている。前者では、「人、人、人……“群衆”で「群集心理」という言葉を初めて知り、後者においてはこの事件の前年に、五社英雄監督の映画『人斬り』を鑑賞していた経緯がある。この映画で、彼は江戸時代幕末の人斬り・田中新兵衛役で迫真の割腹シーンを演じていた。2年次になり、専門科目も徐々に増えたことから、主に科学技術・工学、交通・時事問題、歴史や文化等の新聞記事を切り抜き、それを【写真】のように、



【写真】 43年前の新聞記事の一部（小生のスクラップブック所収）

スクラップブックに所収する、今でいう情報収集・整理を始めたのもこの頃である。以来、かれこれ40年以上になるが、インターネットによる情報検索等が出現してからは、まったくスクラップブックに情報蓄積を行わなくなってしまった。膨大な切り抜きや資料を自宅の決まった場所に雑然と置くなど、あるいは机の引き出し等に眠っている運命にある。これは**知的作業の積み重ね**であり、今でいう“Newspaper in Education（NIE; 教育に新聞を）”に相当するであろう。3年次には1973年11月の「第一次石油（オイル）ショック」では、トイレトペーパー、洗剤などの買だめ騒ぎが起き、ささいな流言飛語が飛び交うなど、「**狂乱物価**」という世相を反映した言葉がなぜか今でも脳裏に残っている。4年次の卒業した年で、もっとも印象に残っているのは1974年10月の「野球選手・長嶋茂雄の引退」である。夕闇迫る後楽園球場での長嶋の引退セレモニーやスピーチを、テレビの生中継で身を乗り出し食い入るように見聞きしていた。「さすが、千両役者！ 国民的ヒーローは違うなあ」。小生は広義の「**団塊の世代**」、かつての流行語「巨人、**大鵬**、卵焼き」の世代なので、夢や希望そして娯楽を与えてくれた一ヒーローの引退に感極まるものがあつた。相撲の大鵬はあまりにも強すぎるので、柏嶋時代を築いたライバルの「柏戸」を応援していた。両者を土木・建築の構造に例えると、大鵬がしなやかでしぶとい「**柔構造**」で、柏戸は電車道まっしぐらの「**剛構造**」と対比すると面白い。

学部時代の当時のカリキュラムは、一般教育・専門分野ともにシンプルで通年科目が多く、大部分が必修科目で選択の余地があまりなかったように思える。また、施工系の科目が多く、計画系の科目といったら必修の「交通総論」や「道路交通工学」、選択の「都市工学」や「工業数学」程度しか覚えていない。時間割に掲載されている授業科目はほぼ履修・取得するスタンスであり、多様な科目構成や Semester制など現在のカリキュラムとは**隔世の感**がある。科目の好き嫌い、得手不得手、役に立つ／立たないなど関係なく、自分の興味・関心あるものはその度合いにかかわらず、**貪欲に**受講した（例えば、「電気工学」、「振動工学及び耐震工学」など）。大抵の理科学科は当たり

前、地理・歴史・文化、時事問題など、文科系科目も自称、大好き人間である。いろいろ首を突っ込んだおかげで、物の見方や考え方の幅が広がり、客観的あるいは俯瞰的に見ることができるなど、論理的思考の向上に大いに役に立った。これが、ある疑問点や命題に対し、深く入り込み、「なぜ、そうなるのか（Why）?」、「どうすれば、よいのか（How）?」という、今日の総合的な視点の出発点につながっている。

小生は、将来つぶしの利くであろうと思われる“土質”を選択し、3年次のゼミと4年次の卒研は当時の土質工学研究室（浅川美利教授、宮森建樹専任講師）に籍を置き、3年次の春休みにたまたま卒研生の追加実験の手伝いをした。当時のある卒研から、「お前は勉強熱心だから、田舎に帰らないのなら、俺の実験を手伝ってくれないか!」と言われ、「わかりました。いいですよ!」と即答した記憶がある。その時、当該実験補助をした3年生は、小生だけだった。卒研着手とか卒研配属とかまだまったく決まっていなかったのに、当該研究室に平素より出入りし、すでに自分の机や居場所を確保していた。ちなみに、小生の卒論テーマは当時浅川先生を中心に精力的に取り組んでいた、トレンチ掘削泥壁面の安定機構に関する研究で、現在の連続地下壁工法（泥水工法）のメカニズム構築にひとつの貢献をし、所属の先生方よりお褒めをいただいた。まず人の話によく耳を傾けて聞き、自分の目で見たり、調べたり、確かめたりなど方法論は幾多もあるかもしれないが、いつかは自分の糧あるいはものにする謙虚な姿勢が肝要と思う。好奇心の赴くままに……。

1974年に学部卒業に伴い本学大学院に進み、理工学研究科修士課程土木工学専攻に在籍した。その当時、本学科の関係専攻は存在せず、土木工学科と交通工学科の両卒業生（計20名、内交通は6名）が一緒に学んでいた。今でいう社会基盤施設工学にかかわる科目がほとんどで（土質系では最上武雄教授・浅川美利教授、コンクリート系は関慎吾教授、応用力学・構造工学系では色部誠教授・川口昌宏助教授ほか）、土木計画系の科目は八十島義之助教授が担当された1科目しか覚えていない。最上先生からは“情報理論や統計熱力学に基づく、土の粒状体の力学”を、浅川先生からは“土質力学演習を通じ、土の全般的事項にわたってレポートとプレゼンの両面”から鍛えられた。関先生からは“コンクリートの物性とクリープ理論”の講義が興味を引いた。色部先生は“連続体の力学およびその応用”、川口先生からは当時創生・発展途上だった“マトリクス法に基づく有限要素法（FEM）”についてご教示いただいた。とくに、色部先生の授業は科目の内容からして数理解力学による理論展開が随所に見られ、3力（構造力学・土質力学・水理学）が売りの土木工学科出身者と違い、小生をはじめ交通工学科出身者は皆、難解な論理的思考に頭を悩

ませた。要するに、学部1～2年次に習得したはずの基礎的な数理および力学系科目の応用力がさほど身につけていないことが露呈してしまった。しかしながら、ほかの機械工学専攻で履修した倉西正嗣教授の「塑性力学特論」の授業では、当該内容を理解するのに、色部先生のこの「応用力学特論」が大いに役に立った。大学院の授業ではできるだけ一番前に着席し、各先生に疑問点等をよく質問をしていた（∵ 疑問や理解できないところがあれば、大いに質問や議論をすべきである。高い授業料を払っているのだから……）。これらの知識・経験のおかげで、後の、工学的材料の代表例である土を対象とした修士論文の展開がやりやすくなった。小生の修士論文は「相異なる三主応力下の砂の変形・強度特性」というタイトルで、当時日本が土の応力～ひずみ・強度特性と破壊基準を網羅した、“土の構成式（Constitutive Equations of Soils）”の分野では世界のイニシアチブをとっていたこともあり、その研究動向の流れにうまく乗ることができ、本テーマに関してさらなる向学心・研究心が燃えてきたことから、修士修了後の博士課程進学につながった。実はその当時、理工学研究科の中で土木・交通系専攻だけがDr. コースの学生は創設以来、**誰一人いなかった**のである。小生がそのパイオニアで、結果的に後輩に道を開いたことになる。淡々と真実を語れば、卒研・修士課程・博士課程在籍時には自分の専門は言うに及ばず、そのほかの分野にも大いに興味・関心をもって勉学に励んできた（**強いて勉めるのが勉強**、もともと努力は苦にならず、粘っこくかつ探究心が人一倍強い性格もあるので……）。311ページにも及ぶ**手書き**の、博士論文の題目は「砂の三軸・平面ひずみ挙動」で、砂の直方供試体を用いて平面ひずみ条件下の応力～変形・強度特性に関する丁寧な、かつ骨の折れる実験データを、軸対象条件下の三軸圧縮・伸張試験結果とともに併せて数多く蓄積し、これらの貴重な実験的事実やそれに裏打ちされた弾塑性論に基づく三主応力下の応力～ひずみ関係式の提案と検証が、本論の主な売りである。何せ**角**（かど、Corner）のある供試体で、かつ三次元方向の応力やひずみをコントロールしなければならぬので、何度も実験を失敗するなど、当該試験装置や試験方法の改良・改善等に日夜追われ、あっという間にDr.の1年目が過ぎてしまった（その当時、一緒に実験を行っていた卒研生たちからは、彼らの実験ノートに“**実験の鬼**”と書かれた!）。本博士論文の主査・浅川先生からは「よくまとめたな! 発表もわかりやすくよかったよ!」、同副査でわが国の土質力学の碩学・最上先生からは、「下辺君、この論文、湯気が立っている!」と言っていた。同副査の色部先生は「がんばったね! 君はこれからだね!」とも……。小生には、土木系Dr. コース学生のパイオニアとして、これでひとつ肩の荷が下りた気がした。

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授
兵頭 知 助手



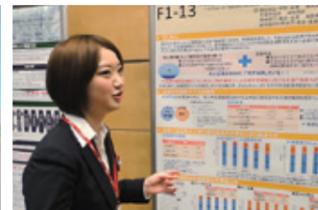
当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルizm」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。‘まち’は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルizmとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。インターモーダルizmの確立を目指し、交通まちづくりを



大島への研究室研修旅行 成田国際空港での調査

実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。

- 卒業研究テーマ
 - ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行動分析
 - ・交通ビッグデータの解析
 - ・ITS施策・マーケティング施策による公共交通活性化分析
 - ・空港・港湾計画のための交通分析
 - ・パーソナルトランスポーターの交通分析
 - ・観光交通計画のための交通分析
- ゼミナール・テーマ
 - ・交通分析手法の習得
 - ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）
 - ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）
- 卒業研究、ゼミナール着手条件
 - 原則として「交通システム計画」「交通需要予測」を履修すること。TOPを取得すること。
 - これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページをご覧ください。（pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp）
 - 卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



学生による学会発表（理工学部学術講演会）

道路交通 研究室

安井一彦 准教授
池田隆博 助教



道路上の安全性と円滑性を高めるための、交通信号制御について研究を行っている、わが国でも数少ない研究室です。3年生は交通工学、土木情報学関連の基礎知識を習得するゼミ、4年生と大学院生は、卒業研究・修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究等を行っています。道路交通研究室では、道路上に起こりうるさまざまな交通問題について研究を行っています。例えば、交通渋滞・事故等の問題については、交差点の現地調査、人物・車両挙動の解析、信号制御等の検討結果を踏まえて、シミュレーションによる検証や実証実験を行い改善に取り組んでいます。また、GNSS（全地球航法衛星システム）、GIS（地理情報システム）、点群データによる、より詳細な車両・道路の位置情報を応用



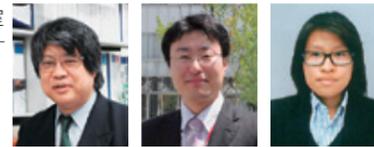
ステーションの衝突実験 GNSS測位における実験

した研究についても実施しています。これからも幅広い視野をもって、道路交通の安全・円滑に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

- 研究室ホームページ：<http://roadtra.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>
- 卒業研究テーマ
 - 主な研究は以下の通りです。
 - ・交通規制用保安施設の安全性に関する研究
 - ・千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善策に関する研究
 - ・高齢者の道路交通法の理解に関する研究
 - ・交差点での交通情報提供の可能性に関する研究
 - ・わが国と諸外国の運転免許制度と交通事故発生率の関係
 - ・踏切での一時停止規制と利用実態に関する研究
 - ・自動車保険データからみる交通事故発生状況に関する研究
 - ・日本と韓国の交通事故発生状況の比較に関する研究
 - ・歩行者優先制御の歩行者の優先度に関する研究
 - ・横断歩道での車両の一時停止順守率に関する研究
 - ・単独GNSS測位における位置情報の高精度化
 - ・点群データを用いた運転支援に関する検討
 - ゼミナール・テーマ
 - 交通技術者として「道路技術必携」と、「交通信号の手引き」の理解。就職にあたっての基礎知識の修得。
 - 卒業研究、ゼミナール着手条件
 - 交通工学に情熱を持っている学生。交通流理論、交通制御、道路工学及び演習を履修または取得している学生。
 - 卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂哲宏 准教授
マーライタム サテーター 助手



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。アジアの都市において、地下鉄やBRT(Bus Rapid Transit)などの公共交通の導入、公共交通指向型開発(TOD)の実施、P&Rによる駐車管理、バイオ燃料の利用などがCO₂排出量の削減にどの程度寄与するかを検証しています。また、ITS技術や高度な交差点制御システムなどを評価するために、走行している車両から走行データを収集するプローブ情報システムの活用しています。また、これらの走行データをモデル化してマイクロ交通流シミュレーションモデル(TS)、ドライビングシミュレーター(DS)の開発しており、さまざまな施策の評価に適用しています。開発したモデルやシステムの適用は、各国の大学あ



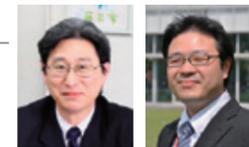
ドライビングシミュレーター

るいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では東北大学、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学、オーストリアのウィーン工科大学などと共同で研究を進めています。卒研究生や大学院生がこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

- 卒業研究テーマ（一部）
 - ・TODを前提としたBRT導入時のCO₂排出削減量の推計—タイ・コンケン市を対象として—
 - ・BRTの導入効果の推計—ラオス・ヴィエンチャン、タイ・コンケン、ベトナム・ダナンを対象として—
 - ・タイにおける高速鉄道導入効果の推計
 - ・新しい燃料消費量推計モデルの構築
 - ・DSを活用した交通情報提供システムの評価
 - ・TSを用いた交通状況把握及び信号制御に関する研究
 - ・プローブ情報を用いた交通行動モニタリング手法の開発
- ゼミナール・テーマ
 - 小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的な手法・モデルを活用した計画案の分析方法を学習する。報告書を作成し、講演会を行う。
- 卒業研究、ゼミナール着手条件
 - 交通問題の解決にかかわる職業につくことを希望している者。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、情報通信システムを取得あるいは受講すること。
 - 卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通環境 研究室

藤井敬宏 教授
伊東英幸 准教授



交通環境研究室では、公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価などの研究を進めています。例えば、公共・福祉・観光交通の視点では、コミュニティバスや介護タクシーなどの福祉交通の改善計画の検討や、心の交通バリアフリーに関する評価・対策の検討、子育て世帯の交通支援策、環境に配慮した観光(エコツアー)の評価などを研究しています。また環境共生型交通インフラの整備に向けた自然環境や生態系サービスの影響評価や保全方法の検討、野生動物と自動車の交通事故分析、アプリを活用した交通教育の検討などに取り組んでいます。平成27年度のゼミナールは、修士課程M2が3名、研究生1名、卒研究生15名、3年ゼミ生18名の総勢37名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究中間



新学期全員集合写真（院生・4年生・3年生） 千葉県BF体験（バス乗車）

- 発表会を年2回、福岡や長崎などへのゼミ旅行に行きました。
- 卒業研究テーマ（一部）
 - ・ニュータウンから鉄道駅までのアクセス交通の実態分析
 - ・住民参画協働に向けたコミュニティバスの運行実態分析
 - ・心のバリアフリー行動マニュアルに基づく取り組み評価
 - ・国内外の観光客の旅行行動に関する研究
 - ・途上国の都市交通整備に伴う絶滅危惧種の影響評価
 - ・野生動物との交通事故対策に向けた検討
 - ゼミナール・テーマ（平成27年度実施内容）
 - ①グループディスカッション
 - ・「現代の若者に必要なTOP 3とは何か?」「サバイバル、無人島に誰(職種)を残すか?」
 - ②社会貢献型学習
 - ・千葉県バリアフリーネットワーク会議(国土交通省関東運輸支局)
 - ・JR成田線新木駅の橋上駅舎建設に伴う連絡通路の情報案内板設置に向けた調査・企画・提案(我孫子市)
 - ③現代時事問題の演習
 - ④話題提供
 - ・「地球環境問題を踏まえた今後の交通」「国土交通白書2015に基づく今後の交通と環境」
 - ・高田邦道先生(理工学部名誉教授による駐車学をメインテーマとした特別講義:2回)
 - 卒業研究、ゼミナール着手条件
 - 交通環境問題に関心を持ち、ワークショップやフィールド調査に積極的に参加する意欲があること。
 - 卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

空間情報 研究室

佐田達典 教授
江守 央 助教



空間情報研究室では、衛星測位システム (GNSS)、地理情報システム、レーザー計測技術をベースに、これらに共通するポジショニングという概念を核として、交通・建設分野への応用を目指した研究活動を進めています。先端的なセンサを応用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究であり、車両の高精度測位、交通施設整備、移動時の情報提供への応用を目指しています。



車載型MMS

台車型MMS

衛星測位に関してはGPSのほかにロシアのGLONASS、EUのGalileo、中国のBeiDouも研究対象としています。また、わが国の準天頂衛星QZSSでは初号機「みちびき」の高精度測位実験を民間では最初に実施しました。さらに、車両や台車にGNSSとレーザー計測装置を搭載して道路空間の形状を走行計測するモバイルマッピングシステム (MMS) の研究に取り組んでいます。自動走行を支援するための3次元道路地図作成や路面や歩道の変状抽出などの応用技術を研究しています。

平成27年度は、大学院生3名、卒研生14名、ゼミナール生15名の総勢32名が在籍し活動しました。

●卒業研究テーマ (平成27年度)

- ① 準天頂衛星の併用による測位精度向上効果の検証
- ② Galileo、BeiDouの測位特性の検証
- ③ 衛星配置と鉛直方向測位精度の関係分析
- ④ 高精度測位データによる曲線区間での運転特性分析
- ⑤ MMSを用いた道路縁石部・歩道のパリアの抽出
- ⑥ MMSを用いた街路案内板の視認性評価
- ⑦ 台車型MMSを用いた点字ブロックの抽出
- ⑧ 水上飛行場に関するアメリカ・カナダの事例調査

●ゼミナール・テーマ

GNSS、写真測量の仕組みについて専門書の輪講を行います。また、交通調査や交通パリアフリーに関する論文の講読を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。新技術に挑戦したい方を歓迎します。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
稲垣具志 助教



本研究室は、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。都市や地区の交通を管理するためには、交通政策や交通規制などのほか、交通需要をコントロールしていくためのマネジメントの考え方も重要です。そのためには、交通調査等によりデータを収集し、そのデータを解析することで、現状の交通状況を把握することが重要です。そして、それをどのように地区の交通計画に落とし込んでいくかを考えていくことに取り組んでいます。具体的には、交通需要をコントロールするために自動車のトリップエンドとしての駐車場の計画をどのように行っていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策やシニア社会の交通対策、子ども、高齢者、障がい者といった交通社会に



信号交差点での自転車発進挙動

小学生の道路横断判断の実験

おける要支援者をサポートする手法の提案、安全で安心して暮らせるための交通計画などの検討も進めており、さまざまな交通問題を地区としてどのように解決していくかを考えています。また、東日本大震災以降は大規模震災発生時の交通問題や物流問題に関する研究にも取り組んでいます。

●卒業研究テーマ

- ・路上駐車取り締まり方法に関する研究
- ・貨物車の駐車特性に関する研究
- ・路外駐車施設に関する研究
- ・二輪車の駐車問題に関する研究
- ・都市内物流施設の立地に関する研究
- ・災害時の物流対策に関する研究
- ・自転車交通の運用と管理に関する研究
- ・安心・安全なまちづくりに関する研究
- ・住宅地における交通安全対策に関する研究
- ・障がい者の移動支援に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交通行動データ解析の基礎演習
- ・セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究・ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論・交通現象解析Ⅱを受講すること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

道路マネジメント 研究室

下川澄雄 教授
吉岡慶祐 助手



人口減少、少子高齢化社会が直面するなかで、今後ともくらし豊かな生活、効率的な都市機能を維持していくためには、中山間地域から大都市に至るまで、「コンパクト」+「ネットワーク」により、新たな活力の集積を図り、それらが重層的に重なる国土の形成を図る必要があります。

道路マネジメント研究室は、これらを実現すべく、道路を中心とする交通インフラの計画・設計から維持管理に至るプロセスの中で、今日的な課題や社会的な要請を抽出・整理し、新たな制度設計を提案していくことを研究の柱としています。そのため、研究の対象は、①道路ネットワークのあり方、②道路のサービス水準と道路の新たな計画設計論、③車両性能や交通特性と道路の構造との関わりなど、道路の機能・特性に関わる基礎的な研究から施策立案に関する行政的な応用研究といった広い領域を含むものです。

なお、本研究室では、他大学との合同ゼミ合宿をはじめとして外部との交流も盛んに行っています。

●卒業研究テーマ

- ・道路の機能・階層を踏まえたサービス水準のあり方に関する研究
- ・将来の拠点配置や交通特性を踏まえた道路ネットワークや道路空間の再編に関する研究

- ・高速道路渋滞時の交通挙動と交通運用策に関する研究
- ・ラウンドアバウトの交通特性と道路構造に関する研究
- ・性能照査型の道路計画設計論 など

●ゼミナール・テーマ

小グループごとによるフィールドスタディを通じ、道路交通問題とその解決策を実践的に習得することを狙いとしています。また、グループディスカッションを通じ、とりまとめや説明能力の向上を目指します。平成27年度は静岡県浜松市遠州鉄道沿線地区をフィールドとし、既存データの分析をふまえた地域活性化のための交通まちづくりについて議論し、その成果をレポートとしてまとめました。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

道路工学および同演習、交通現象解析Ⅱを履修または履修予定であること。

卒研、ゼミ受入可能コース：両コース受入可能

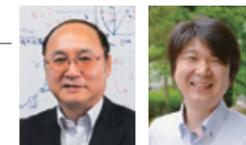


理工学部学術講演会での学生発表 (2015年12月5日)

秋田大学・名古屋工業大学との合同ゼミ (2016年3月7~8日)

基礎力学 研究室

下辺 悟 教授
齊藤準平 助教



本研究室は、人間生活を営むうえで重要な社会基盤施設の工学的材料である、『土』や『コンクリート』を主な研究の対象としていることから、次のような3つのキャッチフレーズを掲げている。

- ◎『ユビキタス・モニタリング・プロファイリング地盤環境工学』の開拓を目指して!
- ◎「得体の知れない土」を科学する!
- ◎交通インフラの健全度診断!

●卒業研究テーマ

- ◎ 降雨による斜面防災・減災のための土壌水分・電気伝導度・土中温度・マトリックスポテンシャル同時測定法 (SWET-MP法) によるモニタリングシステムの信頼性とプロファイリング
- ◎ 地盤汚染を伴う土中の物質移動に関するモニタリングシステムの開発とプロファイリング
- ◎ 下水道管の老朽化に伴う漏水による道路陥没のモニタリングシステムの開発とプロファイリング
- ◎ 地盤環境に係わる土壌塩分モニタリングシステムの開発とプロファイリング
- ◎ 交通インフラに係わる環境緑化モニタリングシステムの開発

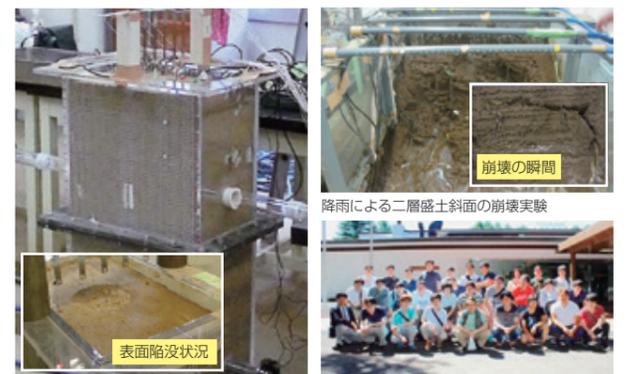
- ◎ 交通インフラの損傷・劣化度診断法の構築
- ◎ ユビキタス・センサーネットワークの構築とその評価

●ゼミナール・テーマ

- ◎「得体の知れない土・コンクリート」を科学する!
- ◎「交通インフラ」を科学する!
- ・「野外環境調査」の実習!
- ・土とコンクリートに係わる「自由研究(基礎・応用実験、調査etc.)」!
- ・その他、課外活動(交通インフラ等の土木構造物や歴史遺産の訪ね歩き)

●卒業研究・ゼミナール着手条件

興味のある方ならどなたでも大歓迎。受入れ可能コース：ゼミナールは両コース、卒業研究はエンジニアリングコースのみ

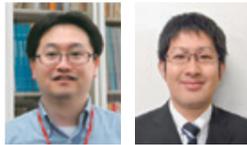


下水道管の漏水による道路陥没のプロファイリング

2015年8月17~19日 卒研・ゼミ合宿 (日本大学軽井沢研修所にて)

地盤工学 研究室

峯岸邦夫 教授
山中光一 助教



平成27年度の学生構成は、大学院博士前期課程2年生が2名、前期課程1年生が2名、卒研生（4年生）が14名、ゼミナール生（3年生）が14名の合計32名でした。

平成28年度は、峯岸教授、山中助教的2名体制で研究・教育を進めていきます。

当研究室では、交通施設（鉄道、道路、空港、港湾などに関連する施設）の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の交通施設に関連する地盤や地盤材料の力学特性のほかに、舗装用に強化されたジオシンセティック（土木用不織布）の耐久性および通水性能、製鋼スラグの有効利用等のほかにも、舗装の構造設計など、舗装に関する研究も行います。

学生の動きとしては、昨年11月に（公社）地盤工学会関東支部主催のソイルストラクチャーコンテスト（与えられた材料を

用いて液状化対策工法を提案するコンテスト）に学部生5名が参加して、優秀アイデア賞を受賞しました。総合順位は、10チーム中惜しくも4位（社会人チームが1～3位）でしたが、学生チームではトップの順位でした。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と関東大学地盤研究室対抗ソフト大会に研究室全員で参加しました。他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めることができました。

●卒業研究テーマ

- ① 混合地盤材料の強度変形特性
- ② 強化ジオシンセティックの耐久性および排水性評価
- ③ 製鋼スラグの地盤材料としての有効利用
- ④ 乱された関東ロームの力学特性
- ⑤ 路床の弾性係数に関する研究
- ⑥ 土系舗装の性能指標に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ① 地盤工学の成り立ち
- ② 交通地盤工学（交通施設の地盤工学）とは？
- ③ 大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ④ 地盤構造物への新素材・新材料の利用
- ⑤ 地盤環境技術
- ⑥ 魅力あるアースデザイン
- ⑦ フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究は地盤力学Ⅰ、Ⅱと地盤材料実験を履修（同時履修可）していることが望ましい。ゼミナールはとくになし。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



ゼミ合宿で訪れた黒部ダム（平成27年8月・富山県）

TOPICS 交通システム工学科配置図



ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX: 047-469-2581

平成27年度 修士論文・卒業研究

修士論文

子ども連れ世帯の保育送迎における移動負担要因に関する研究 指導：藤井敬宏教授、伊東英幸准教授	明渡隆浩	自転車の通行挙動に基づく適切な自転車用クリアランス時間の設定手法に関する研究 指導：安井一彦准教授	竹下将司
昼夜別の実勢速度の実態と速度抑制対策の効果に関する研究 指導：安井一彦准教授	阿南洵哉	都市内多車線道路における緩速車線を用いた交通運用策の提案と評価 指導：下川達雄教授、森田韓之	土屋克貴
ロジックモデルを使用した貨物のモーダルシフトにおける補助金額の弾力性分析 指導：轟 朝幸教授	安倍智紀	歩行者青点減時間の適正化に関する研究—青点減時間と歩行者残留に関する実証実験— 指導：安井一彦准教授	津布子裕幸
モバイルマッピングシステムによる3次元点群データを用いた道路構造物抽出に関する研究 指導：佐田達典教授	今村一紀	エコツーリズムの国際基準（GSTC）に基づく豪州とわが国のエコツアーの比較研究 指導：藤井敬宏教授、伊東英幸准教授	仲山志弥
屋内における視覚障害者歩行支援のための自己位置推定手法に関する研究 指導：佐田達典教授	小川達也	ニューラルネットワークを用いた路線バスの遅延時間予測 指導：轟 朝幸教授	野村大智
大型土壌カラムを用いた土中へのNAPL浸潤過程のモニタリング - プロファイリング手法の構築に関する基礎的研究 指導：下辺 悟教授	小野 亮	透水性舗装に用いるジオテキスタイルの耐久性評価方法の提案に関する研究 指導：峯岸邦夫教授	長谷川圭介
老朽化した下水道管の破損による道路陥没のモニタリング - プロファイリングに関する基礎的研究 指導：下辺 悟教授	川口廣紀	要介護者の移動確保を図るための介護タクシーの運用方法に関する研究—千葉県を例として— 指導：藤井敬宏教授、伊東英幸准教授	藤澤大貴
水上飛行機の着水が船舶に与える危険感の定量化 指導：轟 朝幸教授	黒崎実布由	単路部における押ボタン式信号機の利用実態と交通制御方式別の効果に関する研究 指導：安井一彦准教授	細島豪人
二輪車の混入を考慮したラウンドアバウトのギャップパラメータ推定 指導：福田 敦教授	小島拓也	人口の集約化が財政および住民の移動コストに与える影響 指導：福田 敦教授	松本 航
日中庭園における写し手法の変遷に関する研究 指導：天野光一教授	徐 歆	地方の鉄道路線における地盤状態を考慮した軌道管理の基準値の検討 指導：峯岸邦夫教授	村越祐介
千葉県単路部における横断歩道橋の利用実態に関する研究 指導：安井一彦准教授	鈴木隆晃	アジア中規模都市を対象とした既存統計調査データによるVKTの推計 指導：福田 敦教授	毛利初樹

卒業研究

■ 交通計画研究室（小早川 悟 教授・稲垣具志 助教）……………	自治体別にみた駅前放置自転車の実態分析 —東京都を対象として—	前田悠貴
自家用車の送迎を考慮した駅前広場整備に関する研究 —茨城県龍ケ崎市JR佐貫駅東口駅前広場を対象として—	生活道路の無信号交差点における自転車右折挙動の実態分析	関 孝則
時間制限駐車区間における路上駐車実態の分析	生活道路交差点における誘導用突起による自転車走行時の振動分析	千葉静児
駐車場整備地区における駐車場整備方策のための基礎的研究 —東京都を対象として—	車両認知距離に着目した子どもの道路横断判断特性に関する研究	和田大輔
東京都市圏における端末物流実態の地域間比較分析	東京都市圏における小型貨物車に着目したプローブデータの分析	米澤良彦
大規模地震時における建物倒壊を考慮した避難所へのアクセス性に関する研究	都市内のバス専用通行帯規制区間における自動二輪車の走行実態分析	川島雅史
コミュニティサイクルシステムの利用実態の比較分析	須田英明	
■ 空間情報研究室（佐田達典 教授・江守 央 助教）……………	衛星測位における衛星位置と鉛直方向精度の関係	酒井昂紀
複数の衛星測位システムの組み合わせによる建物近傍の衛星測位可能範囲の実証分析	BeiDouの特性とGPS併用時の測位精度の検証	大川 輝
準天頂衛星の併用による衛星測位精度向上効果の検証	藤原 弘	

高精度衛星測位における Galileo の併用効果に関する研究 西 隆宏	法枠工を施した法面における緑化モニタリングの実証実験に関する基礎的研究 高根大輔
高精度衛星測位を用いた運転者の加減速特性に関する研究 辻 真人	無線通信を用いた地盤表層水分状況のリアルタイム・モニタリングシステムの構築に関する基礎的研究 寺澤祐貴
高精度衛星測位を用いた平面曲線区間における車線内の走行特性に関する研究 古川允偲	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透特性に関する基礎的研究—ひび割れ深さに着目したひび割れ周囲の塩分濃度分布— 吉澤里香
モバイルマッピングシステムを用いた街路での案内板の視認性評価 松本直樹	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透特性に関する基礎的研究—塩分浸透特性に及ぼす圧縮応力付与の影響— 中原新太・名塚雅義
モバイルマッピングシステムによる点群データを用いた道路縁石部の抽出に関する研究 三浦良介	■ 運輸交通計画研究室 （轟 朝幸 教授・川崎智也 助教） ……
モバイルマッピングシステムを用いた歩道のバリア検出に関する研究 長野貴文	新潟県長岡市における人口減少の要因分析 鴨崎裕基
手押し台車型MMSを用いた点字ブロックの抽出に関する研究 宮川睦吉	離散選択モデルを用いたセグウェイ挙動モデルの構築 金田志優
水上飛行場に関する基礎的研究 —アメリカ・ワシントン州とカナダ・ブリティッシュコロンビア州を対象として— 安齋孝宣	スケアード・ストレイト型交通安全教育の効果計測 飯干 恒
■ 道路マネジメント研究室 （下川澄雄 教授）……………	八街市におけるポストバス導入を前提とした旅客・物資流動の分析 尾崎 修
緩速車線の導入による交通円滑性と適用可能区間に関する考察—東京都23区を対象として— 茂木翔平【森田緯之】	中継輸送導入による費用削減効果の計測 武田佑介
Google マップの交通情報を用いたOD交通量推計によるシミュレーション評価 齊藤浅里	経路検索実績データと深夜急行バス利用者数の関連性 荒井佑介
わが国の都市間連絡における速度サービスの実態分析 福井哲平	ICカードデータを用いた利用頻度別の行動パターン分析—土佐電気鐵道を対象として— 山脇拓也
都市別にみる道路のサービス状況に関する比較分析 金本雄貴	クルーズ船利用要因の分析 —非利用者に着目して— 小更涼太
一般道路において実現可能な旅行速度に関する分析 小野大地	AISデータを用いた東京湾における船舶の挙動分析 諸橋洋平
平地部において中間速度層を実現するための道路構造に関する分析 瀬戸暢浩【森田緯之】	成田国際空港におけるバードストライク対策効果の計測 安部修平
ラウンドアバウトにおける分離島及びエプロン設置前後の車両挙動の比較分析 小久保智朗【森田緯之】	成田国際空港におけるバードストライクによる滑走路閉鎖の影響 佐藤大樹
ラウンドアバウト導入による遅れ時間の削減とそれによる便益額の試算 山形光希【森田緯之】	南海トラフ地震・津波発生時の救援活動における空港・場外離着陸場運用の検討 樋口大貴
都市間高速道路のサグ渋滞におけるボトルネック上流の交通特性分析 松山奈々海【森田緯之】	水上機基地設置の適地選定基準の開発 中根利貴
信号交差点における大型車の乗用車換算係数に関する分析 荒谷直人	海上・航空輸送間における競合品目の輸送機関分担率変動要因の分析 長沢直哉
自動車自自転車を追い越す際の離隔距離に関する研究 佐藤勇太	■ 交通システム研究室 （福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授） …
■ 基礎力学研究室 （下辺 悟 教授・齊藤準平 助教） ……………	SCGE 動学モデルによる高速道路の整備効果計測に関する研究 藤崎沈平【森杉壽芳】
SWET-MP法を用いた斜面防災・減災のための大型模型実験および野外モニタリング - プロファイリングシステムの構築と評価 西谷拓人・茂木寛太	タイ・バンコクにおける都市鉄道の沿線需要から見た輸送力の推計 飯田雄大
降雨による擁壁の崩壊実験とそのモニタリングに関する基礎的研究 小杉勇人	トルコ・イスタンブール市ファティ地区における駐車管理政策の検討 車田敬斗
老朽化した下水道管の破損の漏水に伴う道路陥没のモニタリング・プロファイリングに関する基礎的研究 —地下水位の影響— 田川絢斗・津京優樹	大雪時における千葉都市モノレールの利用実態の分析 滝沢和輝
地盤汚染における物質移動に関するマルチプローブを用いたモニタリング - プロファイリングの基礎的研究 土橋由弥・中村正太郎	千葉市の公共施設へのアクセシビリティに関する分析 石井紀混
マルチプローブを用いた電気伝導度測定による土中塩分濃度の判定に関する基礎的研究 大濱勝史・中谷 碧	被災地における仮設・復興住宅の交通手段別到達圏に関する分析—石巻市を対象として— 竹越 大
	プローブデータを用いたタイ・バンコクの旅行時間の信頼性に関する分析 青木 稜
	HONDA Safety Map を利用したタイ・コンケン市における危険地点の分析 石井大和
	ラウンドアバウトにおける自動二輪車の混入下での最小車頭時間 の推定 宮崎佑一

ICタグを用いた自動二輪車の速度推定 館林晋平	有義高さによる路面粗さの評価がすべり摩擦に及ぼす影響 加藤光晟
プローブ及びVANET(V2V)による旅行速度推定に関する研究—マイクロシミュレーションモデルによる検証— 青柳達也	竹廃材を混入した歩行者系舗装の性能指標に及ぼす配合条件の影響 天池澄乃
GPSの位置情報データによる交通手段判別に関する基礎的研究 鈴木陽介	混合地盤材料の一軸圧縮強度に及ぼす混入材形状の影響 渡辺裕亮
Bluetoothを用いた交通調査方法による交通流計測特性に関する基礎的分析 矢口 翔	発泡廃ガラスを混入した軽量化土の一軸圧縮特性 岩岡巧樹
ドライビングシミュレーターを用いた自動運転の評価—ドライバーの手動運転との差異に着目して— 藤ヶ谷拓磨	粘性土に製鋼スラグを混合した地盤材料の強度特性に及ぼすスラグ混入率の影響 遠田秀晴・宮田大輝
残り赤信号表示方法の違いによる走行挙動の変化に関する研究—ドライビングシミュレータの運転を通して— 山本宙輝	短繊維を混入した関東ロームの締固めおよび強度特性に及ぼす混入率の影響 松下優一
燃料消費量推計に向けたVSPモデルの他車種への適用 鈴木陽介	面状補強材を混合した粘性土の力学的特性に及ぼす補強材厚さの影響 福澤隆太・安田隼人
日本の走行環境に合わせたVSP走行区分の再定義 後藤 歩	ジオセルを用いた路盤の支持力補強効果に及ぼす材料特性 伊藤友哉
■ 交通環境研究室 （藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授） ……………	透水性舗装用多層構造ジオシンセティックスの材料特性に及ぼす目付量の影響 福永浩大・和田博貴
ニュータウンから鉄道駅までのアクセス交通の実態分析—JR佐貫駅のキス&ライドを例として— 磯雄太郎	■ 道路交通研究室 （安井一彦 准教授・池田隆博 助教） ……………
住民評価に基づいたコミュニティバスの本格運行に向けた検討—我孫子市「あびバス」根戸ルートを例として— 岡野那津美	GNSS測位における車両位置情報の取得に関する研究 米川 隼
住民参画・協働に向けたコミュニティバスの運行実態分析—千葉県のコミュニティバスを例として— 鈴木勝也	一般道路におけるTraffic viewの再現性に関する研究 —実交通状況とTraffic viewの反映時間と一致率について— 小川 巧
市原市の「心のバリアフリー行動マニュアル」の実践的な取り組み評価 飯島瑞樹	ステイコーンの安全性に関する研究 —耐風・耐飛散性能について— 山本啓貴
要介護者の利用意向に基づいた介護タクシーサービスの検討 木村 宏	各都道府県警ホームページにおける交通事故データの公開状況に関する研究 諫田朋哉
八千代市の公共交通利用困難区域における高齢者外出支援事業の実施評価 川口立貴	千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善案に関する研究 中村隆文
子育て環境の違いによる移動負担の影響分析 小林美桜	交差点における自転車の利用実態についての研究 内山岳洋
宿泊型観光客が減少している温泉観光地の商店街利用に関する研究—静岡県伊東市を例にして— 大島誠司【田中絵里子】	単路部に設置された押ボタン式信号機における歩行者等横断行動分析 蛭名大樹
訪日中国人の旅行形態に着目した旅行行動に関する研究 許 瀛【田中絵里子】	信号交差点の横断歩道における歩行者挙動に関する研究 —青点減秒数と歩行者残留率に着目して— 尾坂洋介・才川敬之
教員の意識調査に基づく特別支援学校の修学旅行における課題抽出 鈴木健太【田中絵里子】	昼夜における道路条件別の自動車実勢速度に関する研究 押田直輝・星 拓弥
千葉県の交通インフラ整備に伴う絶滅危惧種の生息適地の分析 早川晃司	停止線付近の車両通過情報を用いた新しい信号制御手法の評価—高谷交差点を対象として— 加藤誉大
国道44号におけるエゾシカのアーチカルバートの利用実態に関する研究 趙 文駿	千葉県の単路部における横断歩道橋の利用実態に関する研究 二瓶涼介
タイの地方都市を対象とした都市交通整備に伴う絶滅危惧種への影響評価 —タイ・コンケン市を対象として— 康 庄	
歩行空間における緑地の生態系サービスの経済価値評価 佐保凌一	
二酸化炭素排出量の推計に基づく交通教育用アプリケーションの開発 岡田健吾	
■ 地盤工学研究室 （峯岸邦夫 教授・山中光一 助教） ……………	
関東ロームの締固め特性とCBRに及ぼす安定材添加率と攪拌時間の影響 落合堂元之	
安定処理した路床弾性係数の材料定数に及ぼすCBRの影響 早川祐樹	

平成27年度 教員・研究員の研究・活動 2015. 4. 1~2016. 3. 31

研究業績 2015. 4. 1~2016. 3. 31

掲載誌・出版元	題目・作品名・書名	教員名など	発表年月
交通計画研究室 (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教)			
■著書			
(一社)交通工学研究会	自転車通行を考慮した交差点設計の手引—平面交差の計画と設計	久保田尚 山中英生 松原 淳 小早川悟 稲垣具志 ほか	15年7月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズA-638	道路交通基盤の整備状況を考慮した災害時応援協定の締結に関する研究	小早川悟 (編著)	15年10月
自由国民社	現代用語の基礎知識2016年版「運輸交通」	高田邦道 小早川悟 ほか	15年11月
■審査論文			
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会論文集 pp.471-476	視覚障害者の道路横断のための新たな方向定位支援ツールの提案	稲垣具志 藤澤正一郎 高橋和哉 池田典弘 竹内聖人 荻野 弘	15年8月
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会論文集 pp.647-652	信号交差点における自転車の発進挙動に関する研究	青山恵里 稲垣具志 小早川悟 森田韓之	15年8月
Studies in Health Technology and Informatics (217巻) pp.512-517	Visibility of LED Blocks Mounted on Crosswalk Boundaries for Low Visual Capacity	Norihiro IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Tomoyuki INAGAKI, Katsuya SATO, Shin-ichi ITO, Motohiro SEIYAMA, Kiyohito TAKEUCHI, Hiroshi OGINO, Shoichiro FUJISAWA	15年9月
Procedia Manufacturing (3巻) pp.3147-3151	Emitting LED block at crosswalk entrance for visually impaired persons	Norihiro IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Tomoyuki INAGAKI, Katsuya SATO, Shin-ichi ITO, Motohiro SEIYAMA, Shoichiro FUJISAWA	15年10月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(71巻5号) pp.I_665-I_671	生活道路における子どもの横断判断特性に関する実験的考察	稲垣具志 寺内義典 大倉元宏	15年12月
(一社)電気学会 研究会資料 制御研究会 (CT-16号) pp.15-17	視覚障害者のための方向定位付きLED発光ブロックの実証実験	長濱秀明 清山幹弘 藤澤正一郎 佐藤克也 伊藤伸一 稲垣具志 池田典弘 高橋和哉	16年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (2巻2号) pp.A_92-A_99	信号交差点における自転車の飽和交通流率の基礎分析	青山恵里 稲垣具志 小早川悟 森田韓之	16年2月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (2巻2号) pp.A_166-A_173	歩行実験に基づく視覚障害者の道路横断のための方向定位支援ツールの提案	稲垣具志 藤澤正一郎 高橋和哉 池田典弘 竹内聖人 荻野 弘	16年2月
■口頭発表			
ロボティクス・メカトロニクス講演会2015	横断歩道口に敷設した発光ブロックの視認性	藤澤正一郎 佐藤克也 伊藤伸一 清山幹弘 稲垣具志 池田典弘 高橋和哉	15年5月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	鉄道旅客車両を活用した鉄道駅内に存在する商業施設向け物資の輸送方法の改善に関する研究	村松賢吾 長田哲平 稲垣具志 小早川悟	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	子どもの道路横断判断に関する情報提供による影響の考察	稲垣具志 小早川悟 寺内義典 山根佑太	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	大規模災害時における救援物資集積所および避難所のアクセシビリティに関する分析	後岡寿成 渡部晃平 稲垣具志 小早川悟	15年6月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	自転車運転者の違反実態と個人属性の関連分析—東京都世田谷区の生活道路を対象として—	山下浩一朗 寺内義典 稲垣具志	15年9月
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 第28回バリアフリー推進ワークショップ	視覚障害者の道路横断にまつわる課題と新たな方向定位支援ツールの提案	稲垣具志	16年1月

■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.61 Vol.641	パーキング業界の明日 (巻頭対談)	森井 博 小早川悟	15年4月
建設コンサルタンツ協会 Consultant Vol.268 pp.28-31	都市交通計画の視点からの交通渋滞対策	小早川悟	15年7月
日本自走式駐車場工業会 ぶれば No.65 pp.13-17	都市部における駐車場の役割の変化	小早川悟	15年7月
日本大学理工学部 理工サーキュラー Vol.45 No.165 pp.4-6	シェアサイクルの現在	小早川悟	15年7月
(一社)交通工学研究会 交通工学 (50巻4号) pp.12-15	路面表示の活用による視覚障害者移動支援の可能性	稲垣具志	15年10月
読売新聞	速度制限 理由も知って	稲垣具志	15年11月
サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.65 Vol.641 pp.42-43	シェアサイクルと日本のこれから (No.5) : シェアサイクル導入の意義	小早川悟	15年8月
日本大学理工学部 理工研ニュース Vol.28 No.67 p.18	効果的な交通安全教育・対策に向けた子どもの道路横断判断特性の把握	稲垣具志	16年3月
ライジング出版 PARKING TODAY Vol.33	交通モードの転換期に差し掛かった日本に相応しい法制度を!	小早川悟	15年9月
日本交通政策研究会 自動車交通研究2015 pp.28-29	最近の研究から : 道路交通基盤の整備状況を考慮した災害時応援協定の締結に関する研究	小早川悟	15年9月
サイカパーキング株式会社 パーキングプレス No.69 Vol.649 p.92	書評「駐車学」	小早川悟	15年12月
BS11「報道ライブ21」	危険自転車ゼロの方法	小早川悟	15年6月
TBS「ひるおび」	高速道路の逆走	小早川悟	15年9月
TBS「ひるおび」	高齢者の交通事故	小早川悟	15年10月
TBS「ひるおび」	自動車の自動運転	小早川悟	15年11月
TBS「News23」	高齢ドライバーの事故	小早川悟	15年11月
テレビ朝日「グッドモーニング」	速攻パネル、自転車危険運転罰則強化へ	小早川悟	15年5月
テレビ朝日「グッドモーニング」	明快パネル、高齢者に迫る交通事故	小早川悟	16年1月
テレビ東京「解決スイッチ」	話題のシェア自転車! お得な使い方&グルメ&快適グッズ	稲垣具志	16年1月
テレビ東京「解決スイッチ」	自転車で世田谷巡り! パワースポット&絶品たこ焼き&無料温泉!	稲垣具志	16年1月
TOKYO FM「クロノス」	追跡 なるほど! 交通安全「ゾーン30」	稲垣具志	16年1月
BS-TBS「NEWSまるわかり」	高齢者のモビリティを考える	小早川悟	16年3月
HOME'S PRESS	親と子、それぞれの視点からの子育てしやすいまちづくりセミナーを聞いてきた	稲垣具志	16年3月

空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 助教)

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (26巻) pp.33-44	複数衛星系の測位信号による電離層遅延の検知と鉛直方向の精度に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年6月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (26巻) pp.95-104	モバイルマッピングシステムの計測精度向上に向けた調整用基準点の有効間隔の検証	岩上弘明 岡本直樹 佐田達典 池田隆博 金網淳次	15年6月
The 14th International Conference on Mobility and Transport for Elderly and Disabled Persons (SA3-3巻)	ACCESSIBILITY AND AUTHENTICITY AT WORLD HERITAGE SITES IN JAPAN — THE CASE OF KYOTO AND KAMAKURA —	Hisashi Emori, Tetsu Yokoyama	15年7月

Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies (11巻) pp.1857-1867	Analysis on Speed Reduction at Curve Section on Two-Lane General Road by Sight Distance Estimated by Mobile Mapping System	Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi Fukuda, Tatsunori Sada	15年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(71巻2号)	モバイルマッピングシステムにおける標定点用ターゲット板のサイズの検討	岡本直樹 佐田達典 江守 央	16年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(71巻2号)	手押し台車型MMSを用いた歩道空間の計測に関する実験	江守 央 佐田達典 今村一紀 小川達也 岩上弘明	16年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(71巻2号)	屋内における視覚障害者歩行支援のための自己位置推定手法に関する研究	小川達也 佐田達典 江守 央	16年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(71巻2号)	MMSによる3次元点群データを用いた道路構造物抽出に関する研究	今村一紀 佐田達典 江守 央	16年3月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	IADLを用いた高齢者の買物支援に関する考察 —松戸市を対象として—	江守 央 下川澄雄	15年6月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	視覚障害者歩行支援システムに用いる3次元モデルの作成	小川達也 佐田達典 江守 央	15年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	東京都23区における歩道状公開空地の管理に関する研究	江守 央	15年8月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	モバイルマッピングシステムにおける標定点用反射板のサイズの検討	岡本直樹 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	複数測位信号によるマルチパス検知効果に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	単色光と陰影による煤で汚れたコンクリート壁面の段差高推定に関する研究	石森章之 塩崎正人 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	3次元点群データを用いた道路の白線抽出手法に関する研究	今村一紀 佐田達典	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	移動体計測システムによる点群データを用いた3次元モデルの作成	小川達也 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	複数測位信号の搬送波位相を用いたマルチパス検知に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年10月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	モバイルマッピングシステムにおける標定点用ターゲット板のサイズの検討	岡本直樹 佐田達典 池田隆博	15年10月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	屋内における視覚障害者歩行支援のための自己位置推定手法に関する研究	小川達也 佐田達典 江守 央	15年10月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	3次元点群データを用いた信号機の灯具抽出に関する研究	今村一紀 佐田達典 江守 央	15年10月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	手押し台車型MMSを用いた歩道空間の計測に関する実験	江守 央 佐田達典 今村一紀 小川達也 岩上弘明	15年10月
(一社)日本写真測量学会 平成27年度秋季学術講演会	高精度衛星測位におけるBeiDouの併用効果に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年10月
The 3rd Scientific Conference in Transport Technology	ANALYSIS ON STABILITY OF VEHICLE POSTURE AND ROAD ALIGNMENT ESTIMATED BY MOBILE MAPPING SYSTEM	TETSUHIRO ISHIZAKA, TATSUNORI SADA	15年10月
第59回日本大学理工学部学術講演会	高精度衛星測位を用いた自動車運転者の加減速特性に関する研究	辻 真人 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	高精度衛星測位を用いた平面曲線区間における車線内の走行特性に関する研究	古川允徳 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	BeiDouの特性とGPS併用時の測位精度の検証	大川 輝 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	準天頂衛星の併用による測位精度向上効果の検証	藤原 弘 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムを用いた道路縁石部の抽出に関する研究	三浦良介 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	衛星測位における衛星位置と鉛直方向精度の関係	酒井昂紀 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	GPSとGLONASSを用いた衛星測位可能範囲に関する研究	原 江平 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	Galileoの併用効果に関する研究	西 隆宏 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	簡易型モバイルマッピングシステムの歩道計測適応性に関する研究	長野貴文 江守 央 佐田達典	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	手押し台車型MMSを用いた点字ブロックの抽出に関する研究	宮川睦吉 江守 央 佐田達典	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	自動運転のための道路構造物の位置情報作成方法に関する研究	今村一紀 佐田達典 江守 央	15年12月

第59回日本大学理工学部学術講演会	屋内における視覚障害者歩行支援のための自己位置推定手法に関する研究	小川達也 佐田達典 江守 央	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムに用いる標定点の有効補正間隔の検討	岡本直樹 佐田達典 江守 央	15年12月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
(独)国際協力機構 Mission Related to Dispatch of Experts for Improving Accessibility for PWDs	「障害者のアクセスビリティ改善のためのアドバイザー」活動報告書 ～《これまで》と《これから》のワークショップ～	川内美彦 佐藤克志 江守 央 宮地成子	15年8月
道路マネジメント研究室(下川澄雄 教授・吉岡慶祐 助手)			
■審査論文			
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(71巻5号) pp.I_613-I_622	道路ネットワークにおける中間速度層の意義と適用範囲	下川澄雄 森田緯之 土屋克貴	15年12月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	ラウンドアバウト整備事例集の意義と課題	鈴木弘司 中村英樹 森田緯之 下川澄雄 高瀬達夫	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	“コンパクト+ネットワーク”型国土構造に向けての道路機能の再生法：性能照査型道路計画設計の意義と概要	中村英樹 下川澄雄 大口 敬 野中康弘	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	道路計画設計における実用的な性能照査実施方法の提案	野中康弘 泉 典宏 下川澄雄 大口 敬 中村英樹	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	地方部において中間速度層を実現するための道路構造物の提案	野村昭博 下川澄雄 森田緯之	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	市街地におけるラウンドアバウト整備(飯田市) —既存ロータリー改良と信号機撤去—	米山喜之 吉岡慶祐 藤岡亮文 森 茂夫 勝岡雅典	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	IADLを用いた高齢者の買物支援に関する考察 —松戸市を対象として—	江守 央 下川 澄雄	15年6月
(公社)日本道路協会 第31回日本道路会議	都市内多車線道路における緩速車線の適用可能性に関する研究	土屋克貴 下川澄雄 森田緯之	15年10月
(公社)土木学会 第52回土木計画学研究発表会	ラウンドアバウトの走行安全性照査手法に関する検討	吉岡慶祐 中村英樹 下川澄雄 森田緯之 小久保智朗	15年11月
第59回日本大学理工学部学術講演会	ラウンドアバウト内の走行速度と流入挙動の関係分析	小久保智朗 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 渡瀬貴明	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	わが国の都市間連絡におけるサービス状況の実態分析	福井哲平 下川澄雄 吉岡慶祐 小山田直弥	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	自動車が自転車を追い越す際の離隔距離の計測	佐藤勇太 下川澄雄 吉岡慶祐 土屋克貴	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	平地部の道路において中間速度層が実現する交通量と交差点密度との関係	瀬戸暢浩 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 小山田直弥	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	緩速車線の都市部での適用可能性に関する考察	茂木翔平 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 土屋克貴	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	大型車の乗用車換算係数に関する研究	荒谷直人 下川澄雄 吉岡慶祐	15年12月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	自動車が自転車を追い越す際の離隔距離の計測	佐藤勇太 下川澄雄 吉岡慶祐 土屋克貴	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	Google マップの交通情報を用いたOD交通量推計によるシミュレーション評価	齊藤浅里 下川澄雄 吉岡慶祐	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	都市にみる道路のサービス状況の違いとその特徴に関する分析	金本雄貴 下川澄雄 吉岡慶祐	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	平地部において中間速度層を実現するための道路構造物の提案	瀬戸暢浩 下川澄雄 森田緯之 吉岡慶祐	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	緩速車線の導入による交通円滑性と適用可能性に関する考察 —東京都23区を対象として—	茂木翔平 下川澄雄 森田緯之 吉岡慶祐	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	都市間高速道路のサグ渋滞におけるボトルネック上流の交通特性分析	松山奈々海 下川澄雄 森田緯之 吉岡慶祐	16年3月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	わが国の都市間連絡における速度サービスの実態分析	福井哲平 下川澄雄 吉岡慶祐 小山田直弥	16年3月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
静岡新聞	浜名湖SA拠点遊覧船3年目	下川澄雄	15年4月8日

基礎力学研究室 (下辺 悟 教授・齊藤準平 助教)

■審査論文

(公社)日本コンクリート工学会 コンクリート工学会論文集 (37巻 1号) pp.751-756	ひび割れを有するコンクリートのひび割れからコンクリートへの塩分浸透に関する実験的検討	齊藤準平 下辺 悟	15年7月
(公社)地盤工学会 Kansai Geo-Symposium 2015 ―地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム― 論文集 pp.151-156	誘電率法による飽和度の予測と評価	下辺 悟 齊藤準平	15年11月
(公社)土木学会 斜面災害における予知と対策技術の最前線に関するシンポジウム 福岡2015 論文集 pp.119-124	ADR-MT法を用いた実斜面における水分移動のモニタリング - プロファイリング	下辺 悟 齊藤準平	15年12月

■口頭発表

(公社)地盤工学会 第50回地盤工学研究発表会	老朽化した下水道管からの漏水による道路陥没のモニタリング - プロファイリング手法に関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 川口廣起	15年9月
(公社)地盤工学会 第50回地盤工学研究発表会	2種類の土壌水分計の挿入特性とキャリブレーション	下辺 悟 齊藤準平 佐藤洋介 白石駿一	15年9月
(公社)地盤工学会 第50回地盤工学研究発表会	ADR-MT法を用いた土中へのNAPL浸潤過程のモニタリング - プロファイリング手法の構築に関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 小野 亮	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	直交ひび割れを有するモルタルのひび割れからの塩分浸透	齊藤準平 下辺 悟	15年9月
(公社)地盤工学会 第12回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	老朽化した下水道管破損部からの漏水による道路陥没のモニタリング - プロファイリングに関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 川口廣起	15年10月
(公社)地盤工学会 第12回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	土壌水分計の挿入に伴う誘電特性に関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 小野 亮 土橋由弥 中村正太郎	15年10月
土壌物理学会 土壌水分ワークショップ	土壌水分センサを利用した地盤表層における土壌水分モニタリング - プロファイリングの基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 塩谷佳昌 寺澤祐貴 土橋由弥	15年11月
第48回日本大学生産工学部学術講演会	マルチプローブ(水分・電気伝導度・温度)を用いた地盤への汚染物質の浸透過程におけるモニタリング - プロファイリング	下辺 悟 齊藤準平 小野 亮 土橋由弥 中村正太郎	15年12月
(公社)土木学会 第43回関東支部技術研究発表会	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透特性に関する基礎的研究 ―塩分浸透特性に及ぼす圧縮応力付与の影響―	齊藤準平 下辺 悟 名塚雅義 中原新太 吉澤里香	16年3月

運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・川崎智也 助教)

■著書

コロナ社	土木・交通工学のための統計学の基礎 ―例題と演習― 第4章	轟 朝幸 金子雄一郎 大沢昌玄 長谷部寛 小沼 晋 川崎智也	15年10月
成山堂書店	コンテナ港湾の運営と競争 第3章、補章	川崎芳一 寺田一薫 手塚広一郎 (編著) 川崎智也	15年11月

■審査論文

(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (特集号) (70巻 2号) pp.303-309	ベイジアンネットワークを用いた都市内高速道路における突発事象検知モデルの構築	野村大智 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也 割田 博	15年4月
Maritime Economics & Logistics (17巻 2号) pp.179-197	Containerization of bulk trades: A case study of US-Asia wood pulp transport	Kawasaki, T., Matsuda, T.	15年6月
日本交通学会 交通学研究 (58巻) pp.113-120	生存時間分析を用いた路面電車の利用者数の変化に関する研究 ―土佐電氣鐵道を対象として―	西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也	15年6月
日本物流学会誌 (23巻) pp.103-110	海上・航空輸送間シフト品目の特性分析	川崎智也 轟 朝幸 松田琢磨	15年6月
Transportation Planning and Technology (38巻 6号) pp.664-683	Inland cargo flow modelling considering shipment time variability on cross-border transport	Kawasaki, T., Hanaoka, S., Nguyen, X. L.	15年6月
(公社)土木学会 鉄道工学シンポジウム論文集 (19巻) pp.193-200	ICカードデータを用いた公共交通利用者数の変動特性に関する分析―土佐電氣鐵道利用者を対象として―	西内裕晶 小林康之 川崎智也 轟 朝幸	15年7月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (71巻 5号) pp.523-532	都市鉄道の時差通勤施策における抽選型報奨金制度の有効性	川崎智也 轟 朝幸 小林聡一	15年12月

■口頭発表

(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	大規模災害時における航空機運用方法の検討 ―南海トラフ地震発生時の高知県を対象として―	川崎智也 荒谷太郎 轟 朝幸 古川詩乃	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	商品価値の下落リスクを考慮した輸送手段選択モデルの構築	岸 悠介 川崎智也 轟 朝幸	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	観光トリップに着目した水上飛行機導入による交通機関分担率の推定	黒崎実布由 轟 朝幸 川崎智也 阿川洋平	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	過疎地域におけるポストバス導入の効果と課題	横関敬裕 山田健司 轟 朝幸 川崎智也	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	ベイジアンネットワークを用いた突発事象発生時の交通状態推定	野村大智 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也 割田 博	15年6月
(公社)土木学会 第19回鉄道工学シンポジウム	土佐電氣鐵道を対象としたICカードデータを用いた公共交通利用者数の変動特性把握	西内裕晶 小林康之 川崎智也 轟 朝幸	15年7月
International Association of Maritime Economics (IAME)	Maritime/Air Freight Transport Mode Choice Problem Considering the Depreciation in Cargo Prices	Kawasaki, T., Todoroki, T., Kishi, Y.	15年8月
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会	混雑車両への課金によるホーム上の混雑緩和効果	川崎智也 安倍智紀 西内裕晶 轟 朝幸	15年8月
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会	経路検索条件データを用いた深夜急行バスの短期的需要予測	川崎智也 轟 朝幸 八野眞大	15年8月
(公社)土木学会 第52回土木計画学研究発表会	中学生を対象としたスケアード・ストレイト的自転車交通安全教室が安全意識に与える影響	西内裕晶 川崎智也 轟 朝幸 牧野悠輔	15年11月

■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

日刊建設工業新聞	「海の日」海洋環境連絡会21記念式典 水上空港ネットワーク構想をPR	水上空港ネットワーク構想研究会 (伊澤・轟・江守・川崎)	15年7月
日刊建設工業新聞	注目集める水上飛行機 空港ネットワーク研究	水上空港ネットワーク構想研究会 (伊澤・轟・江守・川崎)	15年8月
中国新聞、高知新聞ほか	「水上空港」中四国結べ	水上空港ネットワーク構想研究会 (伊澤・轟・江守・川崎)	15年8月
(一財)総合科学研究機構 CROSS T&T No.55 pp.66-69	地方創生を目指す水上空港ネットワーク構想 ―運航拠点としての霞ヶ浦―	伊澤 岬 轟 朝幸	15年10月
海洋政策研究所 Ocean Newsletter No.366 pp.2-3	水上空港ネットワークによる高速交通イノベーション ～全国津々浦々の地方創生～	伊澤 岬 轟 朝幸	15年11月
未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム「プラットフォーム通信」	総合的な交通体系を目指して ―交通情報統合化から―	轟 朝幸	15年12月
北海道新聞	観光振興へ水上機ルート リンドバークの日本縦断路、参考に	水上空港ネットワーク構想研究会 (伊澤・轟・江守・川崎)	16年1月
房日新聞	バス交通のあり方考える	轟 朝幸	16年2月

交通システム研究室 (福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授・マーライタム サティター 助手)

■審査論文

Proceedings of the 33rd International Conference of the System Dynamics Society (33巻) pp.1857-1867	Study on Impact Evaluation of Introducing Policies to Realize Urban Consolidation by Using MARS: Case Study of Niigata, Japan	Kikuchi, Hiroki, Sathita Malaitham, Atsushi Fukuda, Guenter Emberger, Paul Pfaffenbichler, Tetsuhiro Ishizaka	15年7月
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会論文集 pp.397-400	コーストダウン試験により推計したVSPと燃料消費量の関係性に関する分析	福室恵子 石坂哲宏 福田 敦	15年8月
Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies (11巻) pp.939-953	Study on Fuel Consumption Estimation Considering the Impacts of Hybrid Vehicle Promotion Based on Time Sharing of Driving Regimes from Probe Data in Bangkok	Napon SRISAKDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sathita MALAITHAM	15年9月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (71巻 5号) pp.337-346	アジア開発途上国大都市における低炭素交通の診断とQOLを用いた治療の手法	中村一樹 林 良嗣 中村文彦 福田 敦 中道久美子	15年12月
システム・ダイナミクス学会日本支部 システムダイナミクス (13・14巻) pp.37-48	都市再配置モデル (MARS) の新潟都市圏への導入	菊池浩紀 Sathita MALAITHAM 福田 敦 Guenter EMBERGER 石坂哲宏	15年12月
Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies (11巻) pp.1857-1867	Analysis on Speed Reduction at Curve Section on Two-Lane General Road by Sight Distance Estimated by Mobile Mapping System	Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi Fukuda, Tatsunori Sada	15年12月

Transportation Research Board Annual Meeting 2016 Paper #16-4789	Measuring Pedestrian Environment in Term of Connectivity Under Catchment Area of TOD in Developing Country: Case of Bangkok, Thailand	Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN, Vasinee WASUNTARASOOK	16年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (2巻2号) pp.A_199-A_204	コーストダウン試験により推計したVSPと燃料消費量の関係性に関する分析	福室 恵子 石坂 哲宏 福田 敦	16年2月
日本環境共生学会 第18回地域シンポジウム	交通ネットワークと土地利用を考慮した政策によるCO ₂ 排出量の削減効果の推計に関する研究	菊池浩紀 福田 敦 Guenter EMBERGER 石坂哲宏 Sathita MALAITHAM	15年5月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	交通・土地利用モデルによる都市コンパクト化政策の評価—新潟都市圏を例として—	菊池浩紀 Guenter Emberger 福田 敦 石坂哲宏	15年6月
(公社)土木学会 第51回土木計画学研究発表会	二輪車の混入を考慮したラウンドアバウト導入の評価に関する研究	小島拓也 福田 敦 石坂哲宏 Thaned SATIENNAM	15年6月
33rd International Conference of the System Dynamics Society	Study on Impact Evaluation of Introducing Policies to Realize Urban Consolidation by Using MARS: Case Study of Niigata, Japan	Hiroki KIKUCHI, Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA, Guenter EMBERGER, Paul PFAFFENBICHLER, Tetsuhiro ISHIZAKA	15年7月
20th National Convention on Civil Engineering	Barriers on Area Development along Suburban Railway System in Bangkok	Atsushi Fukuda, Sathita Malaittham, Varameth Vichiensan, Tuenjai Fukuda, Vasinee Wasuntarasook	15年7月
8th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Study on Estimation for Impact of CO ₂ Emission Reduction under the Policies Considered the Change of Transportation Network and Land Use—Case Study of Niigata, Japan—	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	15年8月
8th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Queue Length Estimation for Adaptive Traffic Signal Control Based on Traffic Information Collected from GPS Probe Data	Napon SRISAKDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	15年8月
8th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Walkability Indicators Regarding the Structures of Street Network	Sathita MALAITHAM, Vasinee WASUNTARASOOK, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN	15年8月
International Conference on Modeling, the Future of Hochiminh City Metropolitan Area 2015	Study on Evaluation of Urban Consolidation by Applying the MARS: Case of Niigata, Japan	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Guenter EMBERGER, Paul PFAFFENBICHLER	15年9月
International Conference on Modeling, the Future of Hochiminh City Metropolitan Area 2015	Possibility to Realize Low Carbon City in Khon Kaen, Thailand	Tuenjai FUKUDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sittha JAENSIRISAK, Thaned SATIENNAM, Hiroki KIKUCHI	15年9月
The 70th JSCE Annual Meeting	Analysis on Relationship of Estimated VSP from Coast-down Test and Fuel Consumption	Keiko FUKUMURO, Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi FUKUDA	15年9月
The 70th JSCE Annual Meeting	Study on Evaluation of Impacts of BRT Introduction on Traffic and CO ₂ Emission in Danang City, Vietnam	Akiho HATAKEYAMA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sathita MALAITHAM, Tetsuji MASUJIMA	15年9月
The 3rd Scientific Conference in Transport Technology	Impact on Fuel Consumption Reduction of Introducing Hybrid Car in Bangkok Central Area by Using Probe Information and Mobile Fuel Consumption Measurement	Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sathita MALAITHAM, Napon SRISAKDA	15年10月
The 3rd Scientific Conference in Transport Technology	VKT Estimation in Medium-sized City of Asia by Using Statistical Data	Hatsuki MORI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	15年10月
The 3rd Scientific Conference in Transport Technology	ANALYSIS ON STABILITY OF VEHICLE POSTURE AND ROAD ALIGNMENT ESTIMATED BY MOBILE MAPPING SYSTEM	TETSUHIRO ISHIZAKA, TATSUNORI SADA	15年10月
(公社)土木学会 第52回土木計画学研究発表会	既存統計調査データを用いたアジア中規模都市におけるVKTの推計	毛利初樹 福田 敦 石坂哲宏	15年11月
第59回日本大学理工学部学術講演会	タイ コンケン市におけるLRTの導入の検討	小池巧馬 小林洋貴 齋藤 陸 山川敬寛 福田 敦 石坂哲宏 マーライタムサティター 畠山晃穂	15年12月

第59回日本大学理工学部学術講演会	タイ・コンケン市の事故多発地点における自動二輪車の走行実態調査—タイ・コンケン市内での交差点調査を基に—	小澤弘典 國府田将紘 峰野達也 福田 敦 石坂哲宏 マーライタムサティター 畠山晃穂	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	都市間鉄道路線移設による都市内交通需要の変化及び現状との分析—タイ・コンケン市を対象として—	服部義己 小澤知弘 徳永和貴 西澤大雅 渡邊雄也 福田 敦 石坂哲宏 マーライタムサティター 福室恵子	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	交通渋滞解消に向けた渋滞マップの作成とその評価に関する研究—タイ・コンケン市を対象として—	西園知哉 橋本諒平 峰野達也 福島和輝 西田慎太郎 積田典泰 ヌーカムディー ポンテーブ 平 聖伍 福田 敦 石坂哲宏 マーライタムサティター 菊池浩紀	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	タイ・コンケン市ショッピングモール前の錯綜地点における交通現況の分析	盛 大我 渡部直樹 小池智士 福田 敦 石坂哲宏 マーライタムサティター 福室恵子	15年12月
The 59th Scientific Meeting of CST	Analysis of On-street Parking Behavior in Downtown in Vientiane	Khamphanh VANTHANA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	15年12月
■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
フォーラムエイト Up&Coming 2015 秋号	エコドライブや走行挙動の評価・研究	石坂哲宏	15年11月
Asia-Pacific Economic Cooperation Follow-up Peer Review on Energy Efficiency in Thailand Final Report, pp.55-61	Low Crban Transport Systems	Atsushi Fukuda	15年12月
(一社)交通工学研究会	報告書「共同研究バンコクにおけるICTを活用した交通状況の把握に関する研究」	福田 敦 石坂哲宏 Thanat Rungwanichsukanon	16年2月
交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授)			
■著書			
環境アセスメント学会	環境アセスメントの技術指針ってな〜に? 「技術指針のかしこい使い方」	片谷孝孝 石川公敏 伊東英幸 伊藤雄一 上杉哲郎 沖山文敏 尾上健治 橋川泰憲 柴田裕希 田中寿枝 布施孝史 本間 勝 松島正興 松永忠久 宮下一明 持木克之 柳憲一郎	16年2月
■審査論文			
社会技術研究会 社会技術研究論文集 (12巻) pp.34-42	LCAと環境経済評価の活用による生物多様性・生態系サービス評価—木造住宅と鉄骨住宅の事例研究—	伊東英幸 林希一郎	15年4月
Proceedings of the 35th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (Online Proceedings)	Analysis of Biodiversity Offset for Road Projects in Japan	H. Ito, J. Nishijima, T. Fujii, M. Ooba, K. Hayashi	15年4月
Proceedings of the 35th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (Online Proceedings)	Assessment of ecosystem services with land use maps	M. Ooba, K. Hayashi, H. Ito, M. Fujii, Y. Hasegawa	15年4月
(公社)土木学会 土木学会第43回環境システム研究論文集 (71巻6号) pp.199-205	Web アンケートによる干潟の生物多様性・生態系サービスの主観的価値の要因分析—愛知県一色干潟を対象として—	伊東英幸 林希一郎	15年10月
■口頭発表			
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	集合住宅における高齢者の身体活動と近隣歩行環境評価結果の分析—千葉県習志野台団地を対象として—	伊東英幸 岡本真幸 藤井敬宏	15年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	子ども連れ世帯の外出抵抗の評価に関する研究	庄子美優紀 長野博一 明渡隆浩 藤井敬宏	15年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	千葉県の介護タクシー事業における課題抽出に関する研究	藤澤大樹 長野博一 伊東英幸 庄子美優紀 藤井敬宏	15年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会	子ども連れ世帯の保育送迎時における行動実態と課題に関する基礎的研究	明渡隆浩 藤井敬宏	15年8月

(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	途上国の地方都市を対象とした都市化による生態系サービスの影響評価に関する基礎的研究 ータイ・コンケン市を対象としてー	伊東英幸 渡部圭次 藤井敬宏	15年9月
環境アセスメント学会 第13回大会 研究発表会ポスターセッション	生物に対する好嫌性を考慮した歩行空間における緑地評価の基礎的研究	伊東英幸 小関健太郎 佐保凌一 藤井敬宏 加藤見敏 川崎鉄平	15年9月
環境アセスメント学会 第13回大会	保全優先度を用いた広域における生態系サービス評価	大場 真 林希一郎 伊東英幸	15年9月
International Symposium on EcoTopia Science 2015	Impact Assessment by Land Use Change in Khon Kaen City, Thailand	H. Ito, K. Watanabe, T. Fujii, K. HAYASHI	15年11月
International Symposium on EcoTopia Science 2015	Conservation both of biomass energy and ecosystem services by geospatial analysis	M. Ooba, M. Fujii, K. Hayashi, H. Ito	15年11月
International Symposium on EcoTopia Science 2015	The Resource Occupancy to Capacity Ratio Indicator ー Application to Energy Saving System ー	M. Fujii, K. Hayashi, M. Ooba, H. Ito	15年11月
第59回日本大学理工学部学術講演会	オーストラリア基準に基づくわが国のエコツア評価に関する研究	仲山志弥 藤井敬宏 伊東英幸	15年12月
The 7th International Conference on Environmental and Rural Development	Socio-Economic and Spatial Evaluation of Ecosystem Services in Nagoya, Japan	M. Ooba, H. Ito, K. Hayashi	16年1月
日本生態学会第63回全国大会	古土地利用図とプロセスモデルを用いた広域生態系サービス評価	大場 真 林希一郎 伊東英幸	16年3月

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

(一社)北海道開発技術センター dec monthly vol.355	dec Interview	伊東英幸	15年4月
環境アセスメント学会 環境アセスメント学会誌 第13巻第2号 pp.63	本の紹介: 田中充編著 環境条例の制度と運用	伊東英幸	15年8月
環境アセスメント学会 環境アセスメント学会誌 第14巻第1号 pp.63-67	奨励賞受賞記念報告: 生態系および生態系サービスの評価・生物多様性オフセット・バンキングに関する研究	伊東英幸	16年2月
名古屋大学エコトピア科学研究所 共同研究報告書	土地利用変化に伴う環境容量を考慮した総合評価指標の構築	伊東英幸 大場 真 藤井 実 林希一郎	16年3月
国立環境研究所 環境省地球環境研究総合推進費報告書	環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究	大場 真 林希一郎 伊東英幸	16年3月

地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教)

■審査論文

Proceedings of 11th International Conference on Concrete Block Pavement	DURABILITY EVALUATION OF REINFORCEMENT GEOSYNTHETICS USING WATER PERMEABILITY CONCRETE BLOCK PAVEMENT IN FIELD AND LABORATORY	K. MINEGISHI, KYAMANAKA, H.YAGINUMA, TOKAMURA, SOMOTO, A.KASAHARA	15年9月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 (第30巻) pp.81-88	発泡ビーズ混入軽量化土を用いた路床の弾性係数に及ぼす湿潤密度の影響	山中光一 峯岸邦夫 野田遼斗 早川祐樹	15年12月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 (第30巻) pp.177-182	透水性舗装に用いるジオテキスタイルの耐久性評価方法の検討	峯岸邦夫 山中光一 長谷川圭介	15年12月

■口頭発表

(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	製鋼スラグを混合した関東ロームの力学および膨張特性	峯岸邦夫 山中光一 吉澤千秋	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	透水性ブロック舗装に用いるジオシンセティックスの耐久性能の検討	峯岸邦夫 山中光一 岡村智行 柳沼宏始 長谷川圭介	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	透水性舗装用多層構造ジオシンセティックスの耐久性能および通水性能の評価	峯岸邦夫 山中光一 小高秀登	15年9月
(公社)地盤工学学会 第50回地盤工学研究発表会	舗装下に敷設したジオシンセティックスの通水特性	峯岸邦夫 山中光一 長谷川圭介	15年9月
(公社)地盤工学学会 第50回地盤工学研究発表会	高岡市および射水市の地盤と車体上加速度データの関係	峯岸邦夫 村越祐介	15年9月
(公社)地盤工学学会 第50回地盤工学研究発表会	混合地盤材料の路床弾性係数に及ぼすCBRと応力の影響	峯岸邦夫 山中光一 野田遼斗	15年9月
(公社)地盤工学学会 第12回地盤工学学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	安定処理した路床弾性係数の材料定数に及ぼすCBRの影響	早川祐樹 峯岸邦夫 山中光一 野田遼斗	15年10月
(公社)地盤工学学会 第12回地盤工学学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	短繊維を混入した関東ロームの締固め及び強度特性	松下優一 峯岸邦夫 山中光一	15年10月

(公社)地盤工学学会 第12回地盤工学学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	関東ロームの攪拌時間が締固め特性と変状CBR値に及ぼす影響	落合堂元之 峯岸邦夫 山中光一	15年10月
(公社)地盤工学学会 第12回地盤工学学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	ジオセルを用いて補強した路盤内の応力分散効果	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一	15年10月
(公社)地盤工学学会 第12回地盤工学学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2015)	竹廃材を混入した土系舗装のすべり抵抗値に及ぼす配合条件の影響	天池澄乃 峯岸邦夫 山中光一	15年10月
(一社)電気学会 ITS / 交通・電気鉄道合同研究会	地方の鉄道路線における軌道路盤状態の推定および加速度データによる軌道劣化予測	村越祐介 峯岸邦夫	15年11月

道路交通研究室 (安井一彦 准教授・池田隆博 助教)

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (26巻) pp.33-44	複数衛星系の測位信号による電離層遅延の検知と鉛直方向の精度に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年6月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (26巻) pp.95-104	モバイルマッピングシステムの計測精度向上に向けた調整用基準点の有効間隔の検証	岩上弘明 岡本直樹 佐田達典 池田隆博 金網淳次	15年6月
(一社)交通工学研究会 第35回交通工学研究発表会論文報告集 (CD-ROM巻)	車線規制用コーンの開発	小田桐直幸 内野武人 福島 満 北井洋将 安井一彦	15年8月

■口頭発表

(一社)日本写真測量学会 平成27年度年次学術講演会	多周波GNSSによる電離層遅延の検知と測位精度に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年5月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	複数測位信号によるマルチパス検知効果に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	モバイルマッピングシステムにおける標定点用反射板のサイズの検討	岡本直樹 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	単色光と陰影による煤で汚れたコンクリート壁面の段差高推定に関する研究	石森章之 塩崎正人 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第70回年次学術講演会	移動体計測システムによる点群データを用いた3次元モデルの作成	小川達也 佐田達典 池田隆博	15年9月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	複数測位信号の搬送波位相を用いたマルチパス検知に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年10月
(公社)土木学会 第40回土木情報学シンポジウム	モバイルマッピングシステムにおける標定点用ターゲット板のサイズの検討	岡本直樹 佐田達典 池田隆博	15年10月
(一社)日本写真測量学会 平成27年度秋期学術講演会	高精度衛星測位におけるBeiDouの併用効果に関する研究	池田隆博 佐田達典	15年10月
第59回日本大学理工学部学術講演会	単路部における押ボタン式信号機の利用実態と交通制御方式に関する研究	細島豪人 安井一彦	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	千葉県における昼夜別の実勢速度の実態と速度抑制対策の効果に関する研究	阿南海哉 安井一彦	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	自転車の走行挙動に基づく適切な自転車クリアランス時間の設定手法に関する研究	竹下将司 安井一彦	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	歩行者青点減時間の適正化に関する研究	津布子裕幸 安井一彦	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	千葉県の単路部における横断歩道橋の利用実態に関する研究	鈴木隆晃 安井一彦	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	GPSとGLONASSを用いた衛星測位可能範囲に関する研究	原 江平 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	衛星測位における衛星位置と鉛直方向精度の関係	酒井昂紀 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
第59回日本大学理工学部学術講演会	BeiDouの特性とGPS併用時の測位精度の検証	大川 輝 佐田達典 江守 央 池田隆博	15年12月
FM東京「クロノス」	追跡 なるほど!交通安全「交通信号機の歴史と仕組み」	安井一彦	15年8月
中日新聞	歩車分離式信号交差点	安井一彦	15年8月
中日新聞	歩車分離式信号交差点	安井一彦	15年11月
大阪読売新聞	交差点同時に「青」で事故	安井一彦	15年11月
フジテレビ 「やさしい人ならとけるクイズやさしいね」	やさしい横断歩道とは	安井一彦	16年2月
読売新聞	特集コーナー「歩車分路式信号」	安井一彦	16年3月

社会的活動

2015. 4. 1～2016. 3. 31

■小早川 悟 教授

(公社)日本交通政策研究会 東京都市圏における物資流動のビッグデータからみた道路整備効果の分析 プロジェクトリーダー

(公社)日本交通政策研究会 自動二輪車の交通事故分析とその活用 委員

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 第1学術小委員会 副委員長

(一社)交通工学研究会 第2学術小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学論文賞技術賞選考委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計計算ソフト小委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 平面信号委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面信号委員会 マニュアル改訂分科会 委員

(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員

(一社)交通工学研究会 千葉県国道版道路監査委員会 委員長

(一社)自転車駐車場工業会 サイクルラック等技術基準策定委員会 委員

(一社)日本シェアサイクル協会 理事

(一財)国土技術研究センター 最近の交通問題と道路サービス(新道路研究会) 委員

国土交通省道路局 大型車両の円滑な通行のための道路施策に関する研究会 座長

国土交通省都市局 大規模マニュアル改訂の準備委員会 委員

国土交通省関東地方整備局 東京都市圏交通計画協議会 委員

国土交通省千葉国道事務所 道路機能向上マネジメント検討会 委員長

警察庁 科学警察研究所 特別研究員

東京都中央区 東京駅前地区駐車場整備計画検討委員会 委員

東京都中央区 東京駅前地区駐車場地域ルール策定協議会 委員

立川市 立川市営駐車場のあり方の検討 アドバイザー

大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 会長

大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 会長

システムダイナミクス学会日本支部 理事

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事

(公社)土木学会 土木情報学委員会 副委員長

(公社)日本測量協会 機関誌「測量」編集委員会 委員長

(公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画事業委員会 委員

(一財)日本建設情報総合センター 理事

国土交通省国土地理院 「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」委員会 委員長

国土交通省国土地理院 「平成27年度公共測量に関する課題」調査検討委員会 委員長

国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員

国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省国土技術政策総合研究所 技術提案評価審査会 委員

国土交通省関東地方整備局 平成27年度建設技術展示館審査委員会 委員

■下川澄雄 教授

(公社)日本道路協会 第31回日本道路会議 論文・企画委員会 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学研究会基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ(第Ⅱ期) 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学研究会 査読委員

(一社)交通工学研究会 伊豆市中心市街地交通まちづくり会議 委員

(公財)国際交通安全学会 H2764ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの展開研究会委員

(公財)国際交通安全学会 H2764ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの展開研究会 事例集作業分科会 委員

静岡県 ラウンドアバウト検討委員会 委員

浜松市 原田橋関連土砂崩壊対策検討委員会 委員

浜松市 原田橋架橋に関する意見交換会 座長

浜松市 浜松市立地適正化計画検討会 委員

浜松市 浜松市のみちづくり計画策定委員会 委員長

浜松市 浜松市循環まちバス運行事業評価会議 委員

浜名湖地域振興・減災協議会 浜名湖地域振興・減災協議会 委員

NPO法人まちづくりサポーター FUJI 理事

■下辺 悟 教授

(公社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会 委員(WG1物理特性)

(公社)地盤工学会 アカデミックロードマップと発展史・人物史小委員会 委員(第3章)

(公社)地盤工学会 「JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法」改定WG グループリーダー

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会 技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 委員

(一社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 新規出版企画小委員会 委員

(独)環境再生保全機構 局地汚染地域における重点対策地区設定手法に関する調査研究検討会 委員

国土交通省 交通政策審議会航空分科会 臨時委員

国土交通省航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省航空局 空港における地震・津波に対応する避難計画・早期復旧計画検討委員会 委員長

国土交通省航空局 東京国際空港耐震対策検討委員会 委員長

国土交通省総合政策局 ビッグデータの活用等による地方路線バス事業の経営革新支援検討委員会 委員

国土交通省東京航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省関東運輸局 地域公共交通活性化・再生に関するアドバイザー会議 委員

東京都 空港アクセスバス強化促進協議会 座長

千葉県 国土利用計画地方審議会 委員

千葉県 県土整備公共事業評価審議会 委員

千葉県 入札監視委員会 委員

千葉県 建設工事総合評価 委員

千葉県ほか 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する検証小委員会 委員長

葛飾区 入札監視等委員会 委員

青梅市 公共交通活性化協議会 委員(議長)

鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員

松戸市 建設工事総合評価委員

船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員

佐倉市 地域公共交通活性化協議会 委員

佐倉市 立地適正化計画作成懇話会 委員(副会長)

山武市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

木更津市 公共交通会議 委員

八街市 地域公共交通協議会 委員(副会長)

大網白里町 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 国際センター国際交流グループ タイ国担当リーダー

(公社)土木学会 国際センタープロジェクトグループ 国際インフラアーカイブスWG長

(公社)土木学会 関東支部 幹事

(一社)交通工学研究会 理事

(一社)計画・交通研究会 監事

(一社)日本技術者教育認定機構 認定事業委員会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構 自己評価委員会 委員

(一社)日本私立大学連盟 FD推進会議運営委員会 委員

(特社)海外運輸協力協会 アドバイザー

(公財)国際交通安全学会 IATSS「人」委員会 委員

(独)国際協力機構 「タイ高速鉄道協力準備調査」国内支援委員会 委員

(独)国際協力機構 JICA研修「総合都市交通計画・プロジェクト」講師

(独)国際協力機構 JICA研修「都市公共交通」講師

(独)国際協力機構 ニカラグア国「総合都市交通計画研修」フォローアップ協力事業 専門家

交通エコロジー・モビリティ財団 交通・観光カーボンオフセット支援システム運営委員会 委員

システムダイナミクス学会日本支部 事務局長・理事

日本環境共生学会 関東支部長

日本環境共生学会 理事

日本環境共生学会 学術編集委員会・委員

Eastern Asia Society for Transportation Studies (EASTS), International Cooperative Research Activity (ICRA), Committee Member

EASTS-Japan 理事

Asia Transportation Research Society (ATRANS) 名誉顧問

Asia Transportation Research Society (ATRANS), ATRANS RESEARCH, Managing Editors

国土交通省総合政策局 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員

科学技術振興機構 東アジア地域における国際的な共同研究プログラム「e-ASIA共同研究プログラム(e-ASIA JRP)」アドバイザー

八千代市 都市計画審議会 委員

八千代市 社会資本総合整備計画事後評価委員会 委員

■藤井敬宏 教授

国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 座長

静岡県 岳南都市圏総合都市交通計画協議会 副会長

新宿区 都市再生整備事後評価委員会 会長

武蔵村山市 地域公共交通会議 会長

我孫子市 都市計画審議 会長

我孫子市 総合計画審議会 会長

我孫子市 地域公共交通協議会 委員

市原市 地域公共交通会議 座長

市原市 バリアフリー推進協議会 会長

市原市 公共交通の地域協議会 アドバイザー

市原市 総合評価方式による入札評価 委員

市原市 有償運送運営協議会 委員 委員

市川市 都市計画審議会 副会長

市川市 公共交通協議会 会長

柏市 総合計画審議会 委員

柏市 立地適正化計画策定検討会議 副会長

柏市 地域公共交通活性化協議会 会長

君津市 地域公共交通会議 アドバイザー委員

東金市 総合交通計画策定協議会 委員

習志野市 福祉有償運送運営協議会 会長

船橋市 都市計画審議会 委員

船橋市 環境審議会 委員

船橋市 地球温暖化協議会 会長

八千代市 公共交通会議 委員

伊豆の国市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通戦略分科会 委員

裾野市 都市計画審議会 会長

裾野市 地域公共交通 アドバイザー

富士宮市 都市計画審議会 委員

富士宮市 地域公共交通会議 委員

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 技術功労賞選考委員会 副委員長

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 委員兼幹事

(公社)土木学会 キッズプロジェクト検討小委員会 委員長

(公社)土木学会 技術者教育認定プログラム審査委員会 幹事長

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

(公社)地盤工学会 基準部会 幹事長

(公社)地盤工学会 基準英訳化実行委員会 委員

(公社)地盤工学会 TC202(交通地盤工学)国内委員

(公社)地盤工学会 関東支部 評議員

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ代表

(公社)地盤工学会 関東支部 発表会(Geo-Kanto2015)実行委員会 県連絡委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 支部幹事

国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長

国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会 幹事

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 総合評価審査分科会 委員

船橋市 船橋市一般競争入札【総合評価型】 学識経験者

東庄町 橋梁長寿命化修繕計画策定 学識経験者

■石坂哲宏 准教授

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 自動運転と損害賠償責任 委員

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 学術委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 H2755研究プロジェクト 特別研究委員

システムダイナミクス学会日本支部 理事

Eastern Asia Society for Transportation Studies, International Scientific Committee, Committee Member

■伊東英幸 准教授

(公社)土木学会 国際センター 情報グループ幹事会 幹事

(公社)土木学会 関東支部企画部会 幹事

ライフサイクルアセスメント学会 ライフサイクルインパクト評価研究部会 メンバー

国際影響評価学会 (IAIA) 日本支部 環境社会配慮研究部会 幹事

国際影響評価学会 (IAIA) 2016大会実行委員会 幹事

国際影響評価学会 (IAIA) 2016大会Local Arrangement Committee 幹事

環境アセスメント学会 企画委員会小冊子WG 委員

環境アセスメント学会 2015年度第14回大会実行委員会 委員

環境アセスメント学会 生態系研究部会 委員

環境アセスメント学会 若手研究会 幹事

環境アセスメント学会 学術委員会 委員

システムダイナミクス学会日本支部 理事

道路生態研究会 メンバー (発起人)

なごや生物多様性保全活動協議会 委員

山梨県環境影響評価等技術審議会 委員

岐阜大学 地域科学部地域政策学科 非常勤講師

■安井一彦 准教授

(一社)交通工学研究会 交通工学研究発表会 査読委員

(一社)交通工学研究会 首都高速道路交通安全対策検討会 委員

警察庁 交通安全施設等整備事業の効果測定手法の検証及び見直しに係る調査研究委員会 委員

千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員

千葉県 大規模小売店立地審議会 委員

千葉県 国道464号千葉NT地区交通対策検討会議 議長

■稲垣具志 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 学術小委員会 委員

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会 委員

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小委員会 幹事

(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 自動二輪車の交通事故分析とその活用 委員

(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 東京都市圏における物資流動のビッグデータからみた道路整備効果の分析 委員

(公社)自動車技術会 二輪車の運動特性部門委員会 委員

(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改訂小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会 幹事

(一社)交通工学研究会 高齢者交通事故の原因とその交通安全施策に係る研究 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 会誌委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 住民参画・社会環境特別研究委員会 幹事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 IPCアクセシビリティガイド英文和訳委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会実行委員会 委員

(一社)日本交通科学学会 評議員

(一社)日本交通科学学会 交通科学文献調査委員会 幹事

東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員

東京都 福祉のまちづくり推進協議会専門部会 委員

二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー

二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員

二子玉川通り名検討委員会 委員長

西東京市 地域公共交通会議 副会長

武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員

武蔵野市 バリアフリー基本構想評価委員会 副会長

武蔵野市 バリアフリーネットワーク会議 会長

世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会 委員

世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会第3部会 (道路、公園、公共交通関連) 部会長

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクセシビリティ協議会 交通・アクセス部会 道路輸送作業部会 学識委員

■江守 央 助教

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 副幹事長

(公社)土木学会 移動権に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事

(一社)建築学会 国土強靱化とスマートシティ特別研究委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会 (柏大会) 実行委員会 幹事団

(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 代議員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 副事務局長

(一社)日本福祉のまちづくり学会 国際特別研究委員会 委員

(独)国際協力機構 ヨルダン・障害者のアクセシビリティ改善のためのアドバイザー 短期派遣専門家

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクセシビリティ協議会 交通・アクセス部会海上輸送作業部会 委員

大田区 社会資本整備総合交付金 都市・地域交通戦略推進事業評価委員会 委員長

大田区 区民サービス及び移動等円滑化に関するガイドライン 専門部会 作業部会 委員

大田区 区民サービス及び移動等円滑化に関するガイドライン 区民検討会 ハード部会 部会長

大田区 大田区移動円滑化推進協議会 副委員長

中野区 中野区交通バリアフリー整備構想改定協議会 会長

三鷹市 三鷹市バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長

八千代市 八千代市福祉有償運送運営協議会 会長

鎌ヶ谷市 鎌ヶ谷市福祉有償運送運営協議会 会長

松戸市 松戸バリアフリー市民会議 編集委員

■齊藤準平 助教

(公社)土木学会 コミュニケーション部門 土木広報連絡会 関東支部委員

(公社)土木学会 技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 平成27年度審査チーム (オブザーバー)

(公社)土木学会 総務部会 全国大会委員会プログラム編成会議 平成27年度第V部門 委員

(公社)土木学会 総務部会 技術功労賞選考委員会 幹事

(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査

学外学術活動	2015. 4. 1～2016. 3. 31
---------------	------------------------

■小早川 悟 教授

講師：交通計画・交通行動分析の連続国際セミナー／Parking Management System in Japan - Current and future perspective／東京大学加藤研究室・東京工業大学福田研究室／東京大学本郷キャンパス 2015.6.12

講師およびパネラー：第94回交通工学講習会 (東京)／自転車通行を考慮した交差点設計の考え方／(一社)交通工学研究会／発明会館ホール 2015.7.8

講師およびパネラー：第95回交通工学講習会 (大阪)／自転車通行を考慮した交差点設計の考え方／(一社)交通工学研究会／大阪建設交流館グリーンホール 2015.9.1

講演：これからの駐車マネジメント／IHI運搬機械株式会社／聖路加タワー 2015.9.3

講演：NANSAFECOM2015／Road Safety／Safety Measures for traffic Accidents of Bicycle Traffic in Japan／International Safe Communities Thailand／Dhevaraj Hotel 2015.11.23

講師：JICA集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」／Parking Management／国際協力機構／JICA東京 2014.10.28

コーディネーター：東京都市圏交通計画協議会第10回シンポジウム ～物流とこれからの都市づくり～／パネルディスカッション「物流からみた今後の都市づくり」／東京都市圏交通計画協議会／ヒューリックホール 2016.3.1

■佐田達典 教授

講演：BIM CIMカンファレンス／Trimble MX8 モバイルマッピングシステムによる舗装路面の形状計測と評価／ニコン・トリンプル／東京カンファレンスセンター 2015.12.15

講演：衛星測位技術と3次元形状計測技術について／中央工学校／東京・王子 2016.1.20

(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事

(公社)日本コンクリート工学会 コンクリート工学年次大会 2015 (千葉) 実行委員会 講演部会 委員

■山中光一 助教

(公社)地盤工学会関東支部 千葉県グループ 幹事

(公社)地盤工学会関東支部 会員サービスグループ 幹事

(公社)土木学会関東支部 学術研究部会 幹事

(公社)土木学会 国際部門国際センター情報グループ幹事会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技術情報誌編集委員会 委員

NPO法人舗装診断研究会 技術普及委員会 FWD普及小委員会 委員

NPO法人舗装診断研究会 技術普及委員会 事例収集小委員会 委員

■吉岡慶祐 助手

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 幹事

(公財)国際交通安全学会 H2764ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの展開研究会 委員

(公財)国際交通安全学会 H2764ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの展開研究会 事例集作業分科会 委員

■下川澄雄 教授

オーガナイザー：第51回土木学会土木計画学研究発表会企画セッション「道路の階層区分を考慮した交通性能照査手法の提案」／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／九州大学 2015.6.7

講師：平成27年度道路設計演習「道路の計画・設計の現状と今後の展望」―道路の性能と機能―／(一財)全国建設研修センター／全国建設研修センター 2015.7.21

ファシリテーター：国際交通安全学会セミナー第39回寒地土木連続セミナー／パネルディスカッション「ラウンドアバウトを活用したまちづくり・地域づくり」／(公財)国際交通安全学会、ラウンドアバウト普及促進協議会、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所／ホテルポールスター札幌 2015.10.8

コーディネーター：防災・減災 現場力を活かす／パネルディスカッション「発災時の現場力発揮に必要なこと」／NPO法人まちづくりサポーター FUJI／三島商工会議所 2015.11.5

パネリスト：ラウンドアバウトin須坂／パネルディスカッション「これからのまちづくりとラウンドアバウト」／ラウンドアバウト普及促進協議会／須坂市迎賓館 2015.11.12

オーガナイザー：ラウンドアバウトセミナー／パネルディスカッション「ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくり」／(公財)国際交通安全学会／広島YMCA国際文化センター 2015.12.18

講演：シンポジウム「階層型道路ネットワークの実現に向けて」／階層型道路ネットワークづくりのポイント／(一社)交通工学研究会／B-nest 静岡市産学交流センター 2016.2.2

座長：第43回土木学会関東支部技術研究発表会「地方交通」／(公社)土木学会／東京都市大学 2016.3.14

■轟 朝幸 教授

講師：浜田港「海の日」記念式典 記念講演会／「海の日」海洋環境連絡会21／浜田市 2015.7.27

講師：西岬地区におけるバス交通に関する勉強会／館山市公共交通会議／館山市 2016.2.21

講師：航空政策研究会 第522回月例研究会／航空政策研究会／千代田区 2016.3.10

講師：未来構想プラットフォーム技術講演会／(社)未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム／豊島区 2016.3.15

■福田 敦 教授

講演：APERC Annual Conference / Low Carbon Transport and Smart Urban Designs in Developing APEC Economies / Asia Pacific Energy Research Centre (APERC) / Hotel New Otani 2015.6.9

招待講演：JICA-EASTS-JSCE JOINT SEMINAR / Strategies for Low-Carbon Societies and Public Transport Developments in Japan / Vietnam Section of JSCE and Vietnamese-German University / Vietnamese-German University 2015.6.15

講演：The 20th National Convention on Civil Engineering / TOD and Railway Development / Engineering Institute of Thailand / The Zign Hotel, Pattaya 2015.7.8

講演：平成27年度 IBS 研究発表会・IBS フェロウシップ発表会／バンコクの軌道系公共交通機関沿線における土地開発の実態／(一財)計量計画研究所／計量計画研究所 2015.7.16

講義：平成27年度 JICA 集団研修「都市公共交通コロキウム」コース(A)／東アジア大都市の持続可能な都市交通システム／国際協力機構／JICA 東京 2015.7.24

Moderator：Session 3C; Transportation-related, Energy & Environment / ATRANS / Swissôtel Nai Lert Park 2015.8.21

座長：第11回全国大会 セッションA2「震災復興」／日本環境共生学会／茨城大学阿見キャンパス 2015.9.27

招待講演：The 3rd Scientific Conference in Transport Technology / Area Development with Railway – Experiences in Japan – / University of Transport Technology / University of Transport Technology 2015.10.15

講義：JICA 研修「総合都市交通計画・プロジェクト」[JICA ストラダ演習]「都市交通計画の立案と実例」／国際協力機構／JICA 東京 2015.11.4、2015.11.9-13

講義：TOT (Training of Trainers) on Monitoring and Evaluation (モニタリングと評価に関するTOT (トレーナーのトレーニング))／インドネシア政府国家開発企画庁 (BAPPENAS) / 拓殖大学 2015.11.30

講演：タイ国バンコク - チェンマイ 高速鉄道整備事業準備調査にかかるインセプションレポート協議 / Economic Impact of High Speed Rail Development Experience in Japan / 国際協力機構 / タイ運輸省 2015.12.23

講演：ATRANS Public Forum / “Thailand Towards Safer Road” “How Japan Tackles Road Safety Problems” / ATRANS / Hilton Hotel Sukhumvit Bangkok 2016.1.29

講義：平成27年度 JICA 集団研修「都市公共交通コロキウム」コース(B)／東アジア大都市の持続可能な都市交通システム／国際協力機構／JICA 東京 2016.2.8

講義：JICA ニカラグア国「総合都市交通計画研修」フォローアップ協力事業／国際協力機構／マナグア市 2016.2.15-20

■藤井敬宏 教授

講演：静岡県岳南広域都市計画担当者転落協議会初任者研修会「交通と環境」／道路を取り巻く環境問題／静岡県富士宮市・富士市／富士宮市役所会議室 2015.8.6

講演：千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議／まちのバリアをなくす『気づき』と『活動』～平俗へのアプローチ／国土交通省関東運輸局千葉運輸支局／国土交通省関東地方整備局関東技術事務所屋内展示場内会議室 2015.11.27

講演・司会：八千代市地域公共交通シンポジウム「地域公共交通の維持・継続への取り組み」／千葉県八千代市／八千代市市民文化会館ホール 2015.11.29

講演：市原市地域協議会「地域公共交通確保へのアプローチ」／千葉県市原市／市原市志津公民館 2015.12.20

講演：地域公共交通会議「地域公共交通における協働への取り組み」／静岡県伊豆の国市／伊豆の国市会議室 2016.1.28

講師：「あびバス根戸ルートの本格運行に向けて」／千葉県我孫子市／我孫子市市議会会議室 2016.3.22

■峯岸邦夫 教授

座長：第50回地盤工学会研究発表会「地盤と構造 道路・鉄道盛土⑦」／(公社)地盤工学会／北海道科学大学 2015.9.2

座長：土木学会全国大会第70回年次学術講演会「補強土(1)」／(公社)土木学会／岡山大学津島キャンパス 2015.9.18

座長：土木学会第43回関東支部技術研究発表会第Ⅲ部門「土の変形・強度・破壊・安定(2)」／(公社)土木学会関東支部／東京都市大学世田谷キャンパス 2016.3.14

■石坂哲宏 准教授

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画コース」／国際協力機構／JICA 東京 2015.11.7-14

■伊東英幸 准教授

講演：環境アセスメント学会奨励賞受賞記念講演／環境アセスメント学会／龍谷大学 2015.9.4

講師：第152回技術交流会 道路緑化技術に関する検討会「道路生態学と生物多様性オフセット」／(公財)高速道路調査会／高速道路調査会 2015.9.25

講師：高度専門技術研修Ⅰ(環境)「道路事業における生物多様性オフセットの世界的動向と今後の方向性」／中日本高速道路(株)／NEXCO 中日本人財開発センター 2015.11.27

講演：環境アセスメント分野における今後の研究の動向／環境アセスメント学会／日本大学理工学部駿河台校舎 2016.1.27

■安井一彦 准教授

講師：副安全運転管理者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／八丈島保健福祉センター 2015.7.9

講師：副安全運転管理者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／世田谷区立玉川区民会館 2015.10.8

講師：副安全運転管理者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2015.10.16

講師：副安全運転管理者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／江東区文化センター 2015.10.23

講師：副安全運転管理者講習会「交通事故抑止のために」／(一財)東京都交通安全協会／なかのZERO 2016.2.2

■稲垣具志 助教

講演：平成27年度交通安全教室事業委託説明会「子どもの道路横断能力とは? ～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区／三軒茶屋キャロットタワー 2015.4.24

コーディネーター：交通安全子どもワークショップ「まちの安全守り隊チビニコレンジャー2015」／世田谷区立二子玉川小学校PTA 校外委員会、二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／世田谷区立二子玉川小学校 2015.7.22

講師：第4回自転車安全利用TOKYO セミナー「データの有効活用による自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／東京都庁 2015.10.15

講演：二子玉川小学校地区班保護者会「子どもの道路横断能力とは? ～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区立二子玉川小学校校外委員会／世田谷区立二子玉川小学校 2015.11.14

講演：世田谷区立小学校PTA 連合協議会 北沢警察署管内 地域環境連絡協議会「子どもの道路横断能力とは? ～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区立小学校PTA 連合協議会／世田谷区立代沢小学校 2015.11.17

座長：第52回土木計画学研究発表会「地区内道路」／(公社)土木学会／秋田大学 2015.11.23

基調講演・座談会座長：世田谷ナンバー導入1周年記念交通安全シンポジウム「やさしく走ろう世田谷～交通事故ゼロの世田谷を目指して～」[世田谷ナンバーは「交通安全」ナンバー?]／世田谷区／世田谷産業プラザ 2015.12.7

講演：土木計画学ワンデイセミナー No.78「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり～親の視点と子どもの視点～」／子どもの道路横断判断特性と保護者の意識の実態／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／東京大学 2016.2.20

海外出張

2015. 4. 1～2016. 3. 31

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
-----	---------------

小早川 悟 教授	2015年11月21日～23日／NANSAFECOM2015／ナン (タイ)
----------	--

下川澄雄 教授	2015年 8 月 8 日～29日／平成27年度短期B 海外派遣研究員「欧州における道路構造基準と交通運用策の地域での適用に関する実態調査」／イギリス・ドイツ
---------	---

轟 朝幸 教授	2015年 8 月30日～9 月 4 日／水上飛行機離発着場整備に関する調査／バンクーバー (カナダ) 2016年 3 月 9 日～16日／災害時空港運用およびバードストライクの実態に関するインタビュー調査／クライストチャーチ (ニュージーランド)
---------	---

福田 敦 教授	2015年 5 月13日～17日／委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」実施に関する現地打ち合わせ／バンコク (タイ)
---------	--

	2015年 6 月12日～16日／アジア交通学会、土木学会のジョイントセミナーにて講演／ホーチミン (ベトナム)
--	--

	2015年 6 月29日～7 月 2 日／委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」実施に関するブルートゥースを用いた交通モニタリングのプレ実験とウェブダイアリー調査の設計に関する打ち合わせ／バンコク (タイ)
--	--

	2015年 7 月 6 日～10日／タイ工学会全国土木学会にて論文発表・特別講演／パタヤ (タイ)
--	---

	2015年 7 月18日～23日／第33回 International System Dynamics Conference に参加／ボストン (アメリカ)
--	--

	2015年 8 月 3 日～9 日／APEC のタイ運輸分野エネルギー政策のフォローアップ審査／バンコク (タイ)
--	---

	2015年 8 月11日～15日／路上駐車実態調査および路上駐車排除社会実験／ビエンチャン (ラオス)
--	---

	2015年 8 月16日～19日／SATREPS 申請のための事前調査／ハイデラバード、アーメダバード (インド)
--	---

	2015年 8 月20日～23日／ATRANS シンポジウムに参加／バンコク (タイ)
--	---

	2015年 8 月27日～9 月 4 日／交通工学研究会委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」実施に関する現地打ち合わせ等／バンコク、コンケン (タイ)
--	---

	2015年 9 月23日～27日／国際会議「ホーチミン首都圏の将来」にて講演／ホーチミン (ベトナム)
--	---

	2015年10月 1 日～5 日／国際交通安全学会研究プロジェクトに係る現地ワークショップ開催／ビエンチャン (ラオス)、コンケン (タイ)
--	--

講師：東京都盲人福祉協会青年部学習会「視覚障害者と移動・交通問題」[視覚障害者誘導用ブロックの敷設・利用の実態と課題]／(公社)東京都盲人福祉協会／東京都盲人福祉センター 2016.3.5

■江守 央 助教

講師：ニコン・トリンプル mini ユーザカンファレンス GEOSPATIAL 2015 「“計る”を変える! 《空》から、《走行》しながら、《屋内》まで Trimble Geospatial Solution」 / Trimble MX2 による計測データの応用事例と検証について「歩道上の計測データの水準測量等の計測値との比較検証」[視覚障害者用誘導ブロックの抽出と歩行者支援等の応用データとしての活用の検討] / ニコン・トリンプル / 秋葉原 UDX GALLERY NEXT 2015.7.7

講師：歩行空間における 空間情報技術の応用 / H27年度大田区移動等円滑化推進計画「合同事業者部会」 / 大田区消費者センター 2016.2.16

■山中光一 助教

座長：土木学会第43回関東支部技術研究発表会第Ⅲ部門「補強土・新土質材料」／(公社)土木学会関東支部／東京都市大学世田谷キャンパス 2016.3.14

■池田隆博 助教

座長：平成27年度年次学術講演会 / (一社)日本写真測量学会 / 東京大学生産技術研究所 2015.5.20

座長：平成27年度秋季学術講演会 / (一社)日本写真測量学会 / 釧路市観光国際交流センター 2015.10.30

■マーライタム サティター 助手

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画コース」 / 国際協力機構 / JICA 東京 2015.11.7-14

	<p>2015年10月14日～17日／第3回科学技術会議参加・講演／ハノイ（ベトナム）</p> <p>2015年10月31日～ 4日／ホーチミン環境公社（CITENCO）におけるゴミ収集の実態の把握とゴミ収集車によるCO₂排出量を推計する方法の開発に関する関係者との打合せ／ホーチミン（ベトナム）</p> <p>2015年11月21日～24日／ブルートゥース計測実験の実施状況確認とウェブ調査実施方法の打ち合わせおよび2015SAFECOM国際会議（2015年安全に関する国際会議）にて司会／バンコク、ナン（タイ）</p> <p>2015年12月5日～11日／JABEEによるX大学土木工学科の現地審査にて審査チームの審査長（JICA事業）／インドネシア</p> <p>2015年12月21日～24日／タイ国バンコク－チェンマイ高速鉄道整備事業準備調査に係るインセプションレポート協議に参加／バンコク（タイ）</p> <p>2016年1月22日～25日／（公財）国際交通安全学会の研究事業において低炭素交通社会に向けた現地ワークショップ開催／ダナン（ベトナム）</p> <p>2016年1月28日～30日／ATRANS（アジア交通研究会）パブリックフォーラム講演／バンコク（タイ）</p> <p>2016年2月3日～5日／交通工学研究会委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」実施に関する現地打ち合わせ／バンコク（タイ）</p> <p>2016年2月13日～22日／JICAニカラグア国「総合都市交通計画研修」フォローアップ協力事業にて専門家・講師／マナグア（ニカラグア）</p> <p>2016年3月9日～11日／国際交通安全学会研究プロジェクトに係る現地ワークショップ開催／コンケン（タイ）</p> <p>2016年3月17日～22日／JICA交通安全推進事業に関する協議／バンコク（タイ）</p>
福田 敦 教授	<p>2015年5月14日～16日／委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」現地調査・打ち合わせ／バンコク（タイ）</p> <p>2015年6月29日～7月1日／委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」現地調査／バンコク（タイ）</p> <p>2015年8月11日～14日／タイ・バンコク及びラオス・ビエンチャンにおける交通モニタリング調査／バンコク（タイ）、ビエンチャン（ラオス）</p> <p>2015年9月1日～3日／タイ・バンコク及びコンケンにおける交通モニタリング調査／バンコク、コンケン（タイ）</p> <p>2015年9月11日～14日／東アジア交通学会での科学研究費若手研究に関する成果発表／セブ（フィリピン）</p> <p>2015年10月1日～4日／国際交通安全学会H2755プロジェクト現地ワークショップ開催／ビエンチャン（ラオス）、コンケン（タイ）</p> <p>2015年10月15日～18日／ベトナム・交通技術大学学術大会での科学研究費若手研究に関する成果発表／ハノイ、ダナン（ベトナム）</p> <p>2016年1月22日～25日／国際交通安全学会H2755プロジェクト現地ワークショップの開催／ダナン（ベトナム）</p> <p>2016年2月4日～6日／委託研究「東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術」現地調査／バンコク（タイ）</p>
石坂哲宏 准教授	<p>2015年4月19日～24日／35th Annual Conference of the International Association for Impact Assessmentにて論文発表／フィレンツェ（イタリア）</p> <p>2015年11月9日～13日／タイ・コンケン市の土地利用に関する現地打ち合わせおよび現地調査／コンケン、バンコク（タイ）</p> <p>2016年1月6日～10日／タイ・コンケン市の土地利用に関する現地打ち合わせおよび現地調査／コンケン、バンコク（タイ）</p> <p>2016年3月14日～16日／タイ・バンコクの土地利用に関する現地調査／バンコク（タイ）</p> <p>2016年3月16日～19日／緑地保全政策に関する現地視察およびインタビュー調査／シンガポール</p>
伊東英幸 准教授	<p>2015年8月5日～9日／交通関連機器に関する調査研究／瀋陽市（中国）</p> <p>2015年11月8日～10日／速度情報の提供に関する調査研究／ソウル市（韓国）</p> <p>2016年2月7日～11日／速度情報の提供に関する調査研究／瀋陽市（中国）</p> <p>2016年3月19日～23日／交通保安施設に関する調査研究／西安市（中国）</p>
安井一彦 准教授	<p>2015年7月25日～31日／The 14th International Conference on Mobility and Transport for Elderly and Disabled Persons／リスボン（ポルトガル）</p> <p>2015年8月21日～30日／「障害者のアクセスビリティ改善のためのアドバイザー」活動短期派遣専門家（交通）／アンマン、カラク（ヨルダン）</p> <p>2015年9月1日～6日／「水上飛行機の離発着場整備に関する基礎調査科学研究費（挑戦的萌芽）」に関するヒアリング調査および現地調査／バンクーバー（カナダ）、シアトル（アメリカ）</p> <p>2015年12月14日～19日／「水上飛行機の離発着場整備に関する基礎調査科学研究費（挑戦的萌芽）」に関するヒアリング調査および現地調査／コロombo（スリランカ）</p> <p>2016年3月4日～12日／「障害者のアクセスビリティ改善のためのアドバイザー」活動短期派遣専門家（交通）／アンマン（ヨルダン）</p>
江守 央 助教	

川崎智也 助教	<p>2015年8月3日～12日／南アジア地域クロスボーダー協力（海運）情報収集・確認調査／バンガロール、ツチコリン、コルカタ（インド）</p> <p>2015年8月12日～17日／南アジア地域クロスボーダー協力（海運）情報収集・確認調査／ダッカ（バングラデシュ）</p> <p>2015年8月17日～20日／南アジア地域クロスボーダー協力（海運）情報収集・確認調査／シンガポール</p> <p>2015年8月23日～26日／International Association of Maritime Economics (IAME) での研究発表／クアラルンプール（マレーシア）</p> <p>2015年9月1日～6日／バンクーバー、シアトルの水上飛行機に関するインタビュー調査／バンクーバー（カナダ）、シアトル（アメリカ）</p> <p>2015年12月13日～18日／南アジア地域クロスボーダー協力（海運）情報収集・確認調査成果発表会および水上飛行機に関するインタビュー調査／コロombo（スリランカ）</p> <p>2016年2月29日～3月5日／パナマ運河第三閘門の影響調査／パナマシティ（パナマ）</p> <p>2016年3月9日～16日／災害時空港運用およびバードストライクの実態に関するインタビュー調査／クライストチャーチ（ニュージーランド）</p> <p>2015年9月10日～14日／11thICCBP2015での研究成果発表／ドレスデン（ドイツ）</p>
山中光一 助教	

外部研究資金の受入状況

2015. 4. 1～2016. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）

研究課題

教員名

（一社）日本シェアサイクル協会（2015.9.15～2016.9.15）
 シェアサイクルシステム普及運用実態研究委託…………… 小早川 悟（代表）、稲垣具志

科学研究費補助金 基盤研究（C）（2014.4.1～2017.3.31）
 衛星測位における鉛直方向精度向上手法に関する研究…………… 佐田達典

（一財）国土技術研究センター研究開発助成（2016.2.2～2017.3.31）
 階層型道路ネットワークのわが国への適用に向けた研究…………… 下川澄雄（代表）、浜岡秀勝、吉岡慶祐

（一財）浜松まちづくり公社（2015.5.1～2016.3.31）
 人口減少に伴う地方都市の活性化に向けたまちづくり…………… 下川澄雄

（一財）国土技術研究センター（2015.11.30～2016.2.29）
 道路の構造と交通状況に関する資料の収集及び分析…………… 下川澄雄

科学研究費補助金 基盤研究（B）（2013.4.1～2016.3.31）
 広域災害時の救援救助活動を支える空港運用最適化モデルの開発と効果的運用方策の検討…………… 轟 朝幸（代表）、川崎智也 ほか

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究（2015.4.1～2017.3.31）
 安心安全運航のための水上飛行機離発着場整備に関する研究…………… 轟 朝幸（代表）、江守 央、川崎智也 ほか

成田国際空港(株)（2015.7.1～2016.3.31）
 バードストライク実態等分析・検討（平成27）…………… 轟 朝幸（代表）、川崎智也

（一社）交通工学研究会（2015.3.1～2016.2.28）
 東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術に関する研究…………… 福田 敦（代表）、石坂哲宏、マーライタム サティター

（株）サティスファクトリーインターナショナル（2015.10.1～2016.1.29）
 ベトナム国における輸配送管理システム導入による静脈物流効率化に係るMRV方法論およびGHG排出削減量ポテンシャルの検討…………… 福田 敦

ECOMO 交通バリアフリー研究助成金（2015.6.12～2016.2.29）
 子ども連れ世帯の交通行動及び保育送迎時の実態に関する調査研究…………… 明渡隆浩（代表）、藤井敬宏

千葉県龍ヶ崎市（2015.8.31～2016.3.31）
 佐貫駅東口駅前広場の改修基本計画策定に関する委託研究…………… 藤井敬宏（代表）、小早川 悟、伊東英幸、稲垣具志

JX日鉱日石エネルギー(株)（2015.7.1～2016.3.31）
 軟弱路床用強化不織布の耐久性評価に関する研究…………… 峯岸邦夫

JFEミネラル(株)（2015.7.1～2016.3.31）
 転炉スラグを用いた地盤改良…………… 峯岸邦夫

科学研究費補助金（2012.4.1～2016.3.31）
 モバイルマッピングシステムを用いた速度特性の把握に関する研究…………… 石坂哲宏

名古屋大学エコトピア科学研究所（2015.4.1～2016.3.31）
 土地利用変化に伴う環境容量を考慮した総合評価指標の構築…………… 伊東英幸（代表）、大場 真、藤井 実、林 希一郎

科学研究費助成事業 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31）
 タイ・コンケン市における生物多様性ポテンシャルマップの作成と活用施策の提案…………… 伊東英幸

環境省地球環境研究総合推進費（2013.4.1～2017.3.31）
環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発「サブテーマ4：環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究」
..... 大場 真（代表）、林 希一郎、伊東英幸

科学研究費補助費 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31）
視覚障害者の横断支援性を有する生活道路交通安全施設の実現に向けた実証的研究.....稲垣具志

科学研究費補助費 基盤研究（C）（2013.4.1～2016.3.31）
視覚障害者の鉄道駅プラットフォームからの転落事例の多角的分析と対策..... 大倉元宏（代表）、稲垣具志

二子玉川地区交通環境浄化推進協議会（2016.1.26～2016.4.30）
世田谷区二子玉川における自転車安全利用推進に関する調査研究委託.....稲垣具志

（一社）交通工学研究会（2016.1.22～2016.3.31）
高齢者交通事故の原因とその交通安全施策に関する研究.....稲垣具志

住友電工システムソリューション（株）（2015.12.1～2016.03.31）
非公開.....安井一彦

東京航空計器（株）（2015.5.10～2016.03.25）
非公開.....安井一彦

科学研究費補助金 若手研究（B）（2015.4.1～2018.3.31）
複数衛星系を用いた高精度測位のための誤差電波検知による衛星選択手法の構築.....池田隆博

科学研究費補助金 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31）
損傷を受けた実構造物コンクリートのひび割れ面積比による塩分浸透特性評価法の構築.....齊藤準平

科学研究費補助金 若手研究（獲得支援研究助成金）（2015.4.1～2016.3.31）
安定処理をした2層構造路床の弾性係数の挙動に及ぼす舗装内応力の影響.....山中光一

受賞 2015. 4. 1～2016. 3. 31

環境アセスメント学会／環境アセスメント学会奨励賞（研究部門）（2015.5.16）
..... 伊東英幸

（一社）交通工学研究会／研究奨励賞
視覚障害者の道路横断のための新たな方向定位支援ツールの提案（2015.9.1）
.....稲垣具志・藤澤正一郎・高橋和哉・池田典弘・竹内聖人・荻野 弘

（一社）交通工学研究会／安全の泉賞
視覚障害者の道路横断のための新たな方向定位支援ツールの提案（2015.9.1）
.....稲垣具志・藤澤正一郎・高橋和哉・池田典弘・竹内聖人・荻野 弘

（一社）日本福祉のまちづくり学会／日本福祉のまちづくり学会第18回全国大会奨励賞／
集合住宅における高齢者の身体活動と近隣歩行環境評価結果の分析―千葉県習志野台団地を対象として―（2015.11.7）―― 伊東英幸

（公社）土木学会／土木学会平成27年度全国大会第70回年次学術講演会優秀講演者賞／
途上国の地方都市を対象とした都市化による生態系サービスの影響評価に関する基礎的研究―タイ・コンケン市を対象として―（2015.11.11）
.....伊東英幸

ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2016／最優秀レジリエンス賞 交通・物流部門
東日本大震災被災地の更なる復興と全国津々浦々の発展のためのSeaplane Network構想の実現（2016.3.15）
..... 水上空港ネットワーク構想研究会（伊澤 岬・轟 朝幸・江守 央・川崎智也 ほか）

平成27年度 学生の受賞等 2015. 4. 1～2016. 3. 31

主催者／賞などの内容（受賞年月）
..... 受賞者氏名（研究室）

ATRANS（アジア交通研究会）／Best Paper Award／
Queue Length Estimation for Adaptive Traffic Signal Control Based on Traffic Information Collected from GPS Probe Data（2015.8）
..... Napon SRISAKDA（交通システム研究室）

（一社）日本福祉のまちづくり学会／第17回全国大会・大会奨励賞／
子ども連れ世帯の保育送迎時における行動実態と課題に関する基礎的研究（2015.8）.....明渡隆浩（交通環境研究室）

（公社）地盤工学会関東支部／第10回ソイルストラクチャーコンテスト／優秀アイデア賞／
液状化対策～ジオセル工法の応用～（2015.11）..... 天池澄乃、伊藤友哉、遠田秀晴、渡辺裕亮、落合堂元之（地盤工学研究室）

日本大学理工学部／理工学部学術講演会／優秀発表賞／
屋内における視覚障害者歩行支援のための自己位置推定手法に関する研究（2016.3）..... 小川達也（空間情報研究室）

日本大学理工学部／理工学部学術講演会／優秀発表賞／
高精度衛星測位を用いた自動車運転者の加減速特性に関する研究（2016.3）..... 辻 真人（空間情報研究室）

日本大学理工学部／理工学部学術講演会／優秀発表賞／
BeiDouの特性とGPS併用時の測位精度の検証（2016.3）..... 大川 輝（空間情報研究室）

日本大学理工学部／理工学部学術講演会／優秀発表賞／
準天頂衛星の併用による測位精度向上効果の検証（2016.3）..... 藤原 弘（空間情報研究室）

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

卒業研究発表会

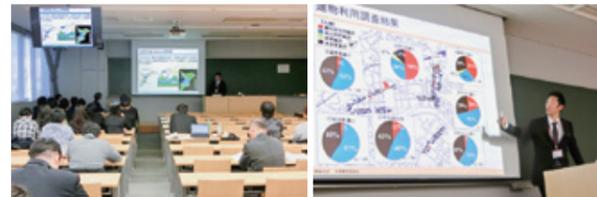
小早川 悟、下川澄雄、江守 央（4年生担任）

平成27年度の卒業研究発表会が平成28年2月13日（土）に船橋校舎14号館にて開催されました。

本年度は、112件（発表者122名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生、1年生、保護者など、約150名の参加がありました。

1年間取り組んだ卒業研究の成果発表は1テーマあたり発表8分、質疑応答4分の合計12分で4つの会場により行われます。この短い時間の中で、自らが明らかにした研究成果を説明することが求められるため、事前にはしっかりと準備が必要となります。そのため、隔週で行われる卒業研究授業では、研究の進め方や表現方法などの詳細について授業が行われてきました。また、発表会の直前は何回も繰り返し発表の練習を行います。

このような日々の積み重ねにより、卒研究生は立派に自分の研究を発表できたようです。



卒業研究発表会 発表会場の様子

平成27年度修士論文審査会

藤井敬宏（大学院2年生担任）

大学院博士前期課程の修士論文審査会が、平成28年2月24日（水）に船橋校舎13号館の階段教室（1325）で開催されました。発表件数は昨年より5件多い17件で、一人あたり発表10分、質疑応答10分の合計20分、9時から18時まで活発な議論が行われました。なお当日は、3・4年生を含め100名を超える参加者により開催されました。

修士論文のタイトル一覧は、本号9ページをご覧ください。修士論文の合格者には、平成28年3月25日（金）に修士（工学）学位記が授与されました。

今年度の修士生には新たな試みとして、2年生の4月の段階で、年間の研究計画書並びに学会発表計画を提出させ、平成27年7月に開催した中間審査会まで、研究計画実績報告を担任に毎月提出する義務化を図りながら、研究の進行管理を



修士論文審査会

進めてきました。さらに2回の中間審査会と最終審査会では、①プレゼンテーション能力、②研究内容、③質疑応答、④総合評価、の4項目をGPA評価（成績S：4点、A：3点、B：2点、C：1点）により全教員で採点し、教員間および学生自身が研究内容評価結果を理解し課題への取り組みが行えるように、評価結果の見える化を図っております。その結果、最終審査会では、いずれの学生も各個人の中間審査会の評価値を上回るオリジナリティー豊かな研究論文としての評価がなされております。担任として、社会交通工学専攻修士生の社会での大いなる活躍を心より願っています。

退任教員の紹介



川崎智也（前）助教

川崎智也先生は、平成25年4月に（公財）日本海事センターより助教として着任されました。主に海運関連の研究を進めてこられました。また、卒業研究等におきましても同テーマでの指導をしていただきましたが、このたび、東京工業大学へ転出することになりました。3年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。大学は変わりますが、引き続きのご指導をお願いいたします。

訃報

元本学科教授で日本大学名誉教授の三浦裕二先生が、平成28年2月22日にご逝去されました。三浦先生は、昭和37年から平成14年まで、学科の創世記から学科発展のため研究と教育ご尽力をされてきました。とくに、透水性舗装の開発者として、また後年は舟運研究の第一人者としてご活躍されました。先生のご指導を受けた卒業生は各方面で活躍しています（下川澄雄教授もその一人です）。

先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

交通システム工学科写真コンテスト2015報告

伊東英幸、池田隆博、稲垣具志、江守 央

交通システム工学科では、学科同窓会の「わだちの会」に共催をいただきながら、2009年度より中学生・高校生を対象とした「写真コンテスト」を毎年開催しています。この写真コンテストは、社会生活における交通の役割や関わりなどについて深い理解と興味を持っていただくとともに、これらを通じて本学科を広く知っていただくことを目的に開催しているものです。

今年のテーマは「交通とくらし」、全国の中学・高校から175点の応募をいただきました。作品は、鉄道、道路、航空、港湾などを中心に、交通施設や交通機関のそれぞれと人々がいかに暮らしているかといった空間をうまく表現されていました。

応募いただいた作品は、わだちの会会長の植田和彦氏、写真家の西山芳一氏、舛巴亮氏、本学科教員からなる審査委員会（平成27年6月18日開催）において厳正なる審査のうえ、18作品を入賞といたしました。

また、平成26年8月2日（土）、3日（日）に開催しまし

た理工学部オープンキャンパス（船橋校舎）において、本写真コンテストの展示会ならびに表彰式を同時に開催いたしました。表彰式には、受賞者や受賞者のご父母、学校関係者にも多数お越しいただき、学科主任の佐田達典教授より賞状と記念品が贈呈されるとともに、受賞作品の審査講評が行われました。

なお、本年度は、「交通がつなげる生活」をテーマとして、5月1日より応募を開始します。詳細は本学科ホームページをご覧ください。多数の応募をお待ちしています。

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/photo.html>

【写真コンテスト2015 について】

- ・テーマ：「交通とくらし」
- ・対象：高校生・中学生
- ・応募総数：175点
- ・入賞賞品：大賞（1点）：iPad mini 3 Wi-Fi 16GB
特選（2点）：図書カード5,000円分（舛巴賞、西山賞）
会長賞（1点）：図書カード5,000円分（わだちの会会長賞）
入選（14点）：図書カード1,000円分



大賞 「煌びやかな都市」
山崎太子さん（神奈川県立瀬谷高等学校）



入選 (14点)
「迫力パノラマ」
松嶋晃矢さん（大阪府立日根野高等学校）



「walk to...」
本多杏主さん（玉川聖学院）



「羽田空港の夜景」
須藤大雅さん（岩倉高等学校）



「はじめての歩」
今野匠さん（神奈川県立瀬谷高等学校）



「バスと車椅子」
多賀涼さん（立花学園高等学校）



特別賞 (西山賞)
「未来を見てみたい」
下野真弥さん
（北海道紋別郡西興部村立西興部中学校）



「街中の船」
内田莉南さん（神奈川県立藤沢清流高等学校）



「愛されて、走り続けて・・・」
尾野田慈さん（清風高等学校）



「釜石線に復活したSL.C58」
白田峻さん（星翔高等学校）



特別賞 (舛巴賞)
「4時47分 養老駅」
花井苺稀さん
（愛知県立小牧南高等学校）



「はる」
服部有沙さん（名古屋市立北高等学校）



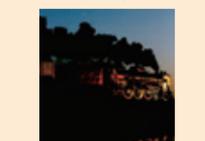
「春の楽しみ」
飯田彩月さん（富士見中学校）



「See you again」
小林真子さん（玉川聖学院）



会長賞
「車窓から見た日常」
小山田侑城さん
（日本大学三島高等学校）



「水田」
蓮見航平さん（岩倉高等学校）



「花は盛りに」
永田右京さん（聖光学院高等学校）



「散歩道」
笹井瑞樹さん（暁星高等学校）

平成27年度 就職状況

4年生担任 小早川 悟、下川澄雄、江守 央

平成27年度の卒業予定者は120人、大学院前期課程修了予定者は22名、合計142名に対して、3,000件以上の求人があり、就職を希望しないあるいは帰国などを除くと、おおむね100%の学生が進路を決定しました（平成28年3月3日現在）。

本年度の就職活動は、就職問題懇談会の「企業等の協力を得て取り組むキャリア教育としての学内行事実施に関する申合せ」に基づき、就職活動が3月1日より開始となりました。このことから、昨年度は4月に20%ほどが内定していたのに対して、本年度は8月の内定が集中する結果になっていますが、8月には例年以上の約70%以上の学生が

内定を得ていました（図-1）。

就職先を業種別に見ますと、建設業（建設コンサルタントを含む）が学部生では約30%、大学院生では50%と大きな割合を占めています。なお、学部生では運輸業（主に鉄道会社）、地方公務員（県庁、東京都23区を含む）が次いで約20%となっています（図-2）。この背景には、引き続き公務員採用数が多い上に、学生の希望も増えていることや、オリンピック・パラリンピック関連の需要による影響があると考えられます。本年度は就職活動開始時期の過渡期となりましたが、大きな混乱もなく順調に進みました。

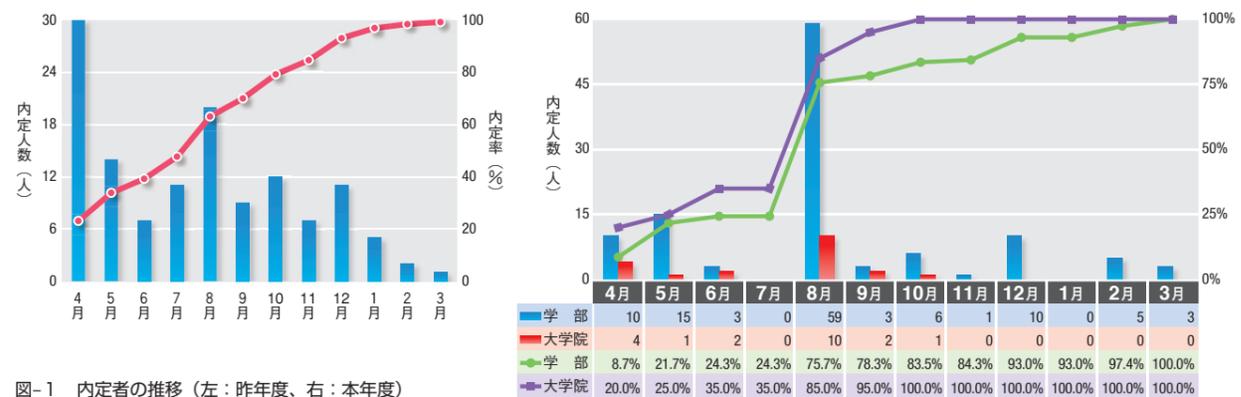


図-1 内定者の推移（左：昨年度、右：本年度）

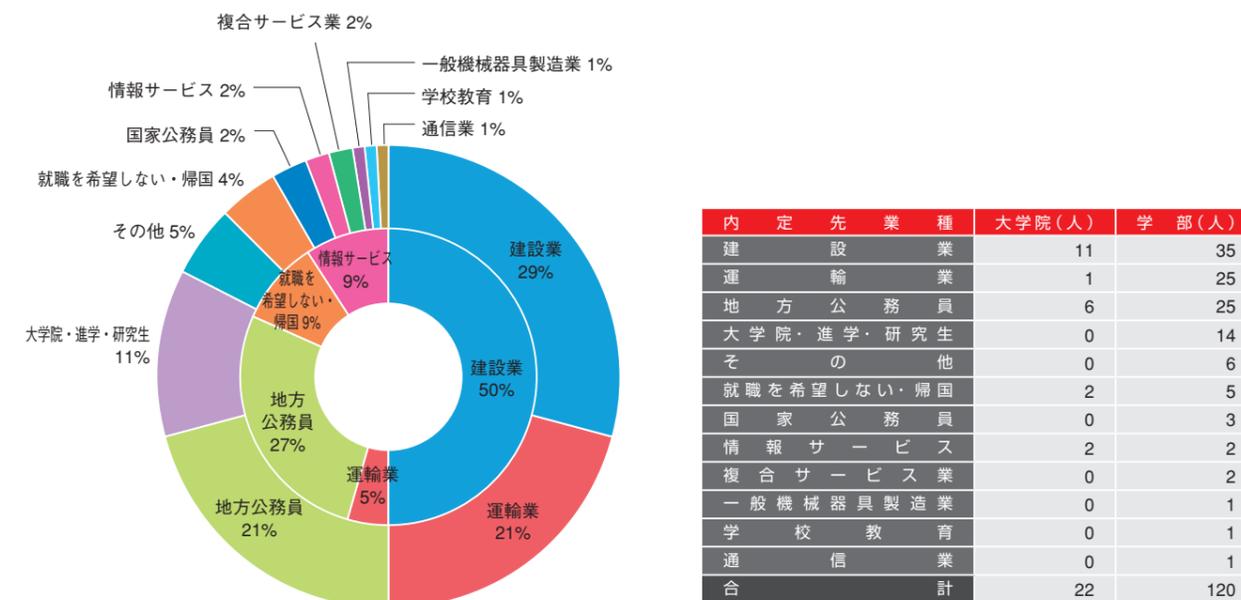


図-2 就職先業種別割合（内：大学院、外：学部）



兵頭 知 助手

このたび本年度の4月より、日本大学理工学部交通システム工学科の助手に着任させていただくことになりました兵頭知(ひょうどう さとし)です。

私は、愛媛大学工学部環境建設工学科を卒業後、同大学大学院理工学研究科博士前期課程を修了しました。その後、愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程に進学、平成28年3月に単位取得満期退学し、本年度より本学科にてお世話になることになりました。

在学中より、交通事故をテーマとした研

究を中心に取り組んでおります。皆さんもご存じのように、交通事故による金銭的・人的な損失は非常に大きいものといえます。その交通事故については、事故によってさまざまな要因で発生しています。主には、カーブ部などの道路構造要因、降雨などの環境要因、走行時の速度などの交通流要因およびドライバー属性などの人的要因の4つの要因が考えられます。その要因を明らかにすることは、効率的かつ効果的な交通事故対策に活かすことができるなど、重要な研究テーマのひとつです。

ここで、私の研究テーマである交通事故要因分析についての説明を少ししたいと思います。交通事故にはさまざまな要因があ

るということを上で述べましたが、とくに、交通流の違いによる影響に着目しています。交通流の違いとは、非常におおざっぱに言えば、渋滞している場合(渋滞流)とそうでない場合(自由流)の違いです。例えば、時間帯別で追突事故の危険性を比較した場合、混雑のない昼間12時台の時間帯に比べ、夕ピーク17時台の時間帯では事故の危険性が高いことなどがわかっております。これは、同じ時間帯(1時間)に占める渋滞流の時間の割合が異なること、すなわち交通流の違いによる影響が大きいためです。現在は、まだ交通流が交通事故に対してどのような影響を与えているかを明らかにしようとしている状況ですが、将来的には交通流シミュレーションと連動することで、事故の起きやすい状態を防ぐような交通マネジメントに役立てたいと考えています。

まだまだ未熟な身ではありますが、研究および教育の両面に対してより一層の研鑽に努めるとともに、少しでも先生方・学生の皆様のお役に立てるよう尽力していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

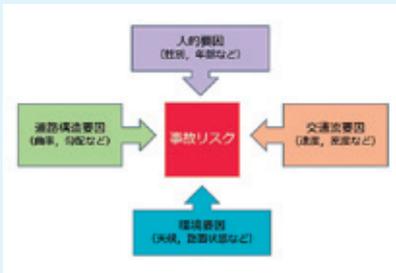


図1 交通事故発生要因

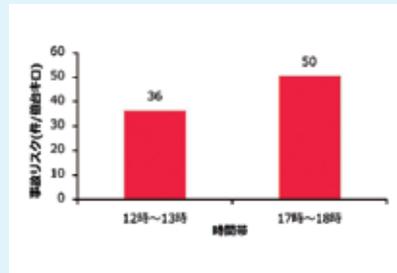


図2 時間帯別追突事故リスク(愛媛県の幹線道路)

■ 事務室からのお知らせ

伊藤順子・熊田悦子・高梨美紀子(事務室)

春風に誘われてワクワクを探しにいろんなことにチャレンジしたくなる季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。実り多き学生生活になりますよう何事にも頑張ってください。在学生は自分の未来の目標に向かってさらに努力し続けてください。

事務室では、学生皆さんのサポートをするために就職、進

学、その他の資料が閲覧できるようになっております。また公務員試験参考書、就職データの貸し出しも行っております。気軽に事務室に足を運んでください。

入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入り口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身に着けてきてください。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日~金曜日	9:30~13:00、14:00~16:00
場 所	7号館2階7214室	

編 集 後 記

東日本大震災(2011.3.11)から5年が経過し、これを機に「〇〇特集~△△~」という題名で、新聞・テレビ等のマスコミで盛んに取り上げられた。地震や津波による「自然災害」とそれに伴う「原発事故」という、人類がかつて経験したことのない未曾有の甚大な災害を被った、生々しい様相等を幾度も見聞きした。「想定外」、「放射能」、「復旧・復興」、「止まった街」、「風化」という実態の重みに心痛めた方々は小生だけではあるまい。(下辺)

2012年度末から3年余りにかけて、中東のヨルダンという国にアクセシビリティ改善に関する支援を行なってきた。もともと中東の中では安定した国であったが、この3年で情勢も大きく変化した。しかし、現地は極めて落ち着いている。むしろ外部が大袈裟に扱うために、実はヨルダンの主産業である「観光」が大きなダメージを受けている。先日行った首都のアンマンにある「カルフル」や「マクドナルド」には、現地の人しかいなかった。(江守)